京城日報

每號一部金五錢 ▲壹ケ月金[illegible] ▲三ケ月[illegible] ▲六ケ月[illegible] 郵稅代用一割增
廣告料 五號十六字詰一行[illegible]
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話長六千九番 振替京城三〇〇番

[illegible]

東坡の書論を讀む
代議政治の精神
秋月生

東坡は宋時の人で、政府の要路にも立つたが、殆ど不遇であつた。文豪として名高く、その赤壁賦の如きは漢學の流行せぬ今日でも、猶人に知られて居る。其文はずいぶん自然であるが、文飾に囚はれぬ斬新な議論が少くないので、物固き學者には[illegible]であつたが、[illegible]。それでも[illegible]之を[illegible]は東坡の文集などを[illegible]ではあるまい。議論は主として堯舜時代から周の三代目頃迄の政治家の事蹟を集めたものである。[illegible]でも今の若い人々は定めし[illegible]に關する樣な氣がするだらう。と知りつゝ之に付いての所感を書くのは惡いだと思はれようが、先づ[illegible]を簡單して茲に掲ぐることゝする。

昔秦の商鞅の傳を讀んで、商鞅が秦の宰相となり、法律命令を改めて其國の風俗を變じようとしたが、人民の中で其命令を批難する者數千人を死刑に處し、又自分に反對する太子の教師に入れ墨(刑罰)し、又その傅育の師長を死刑に處した。それ以來法令はよく行はれて一國が服從した結末を聞で其の勇氣あつて決斷のあるのは實にえらいと非常に感心した。さてく世の人民とは事業の初めから相談は出來ぬ、成功してから成功の結果を共に樂しむ外はないものであるわい。若し世の中の者に各其の知つてる事を陳述せしめ、其の思ひ得た通りを固く守りて國政に付いて議論さしたならば、あつちに突當りこつちに突當りして、迚もくく何も出來はせぬと思ふた。其後三代の書物(夏殷周の三代にして夏は禹に始まりて桀に終り殷は湯に始まりて紂に終る)を讀んだが、商鞅の遣り口とは大に趣きを異にしてる事が分つた。從來の風俗習慣に適つた事をしようとする時は先づ一般に對し論告近頃の流行語の所謂宣傳を試みた。其論告は何時でも丁寧親切で、假令よく國民を服はずに、一生懸命一般に承知させなくてはならぬと、充分に分るようにしてそうして、始めて[illegible]に洩れなく君主が此改正をする其精神を分らしめ、又不服な者の不穩な考へをも[illegible]にした。其物の言ひ振は總て婉曲宛轉として丸で今の議會などで互に議論を上下して又それではいかぬ、こうでなくてはならぬと切り込む所は切込むのと同じ風である。之を讀んで初めの程は少し變に思つた。こんなことでいくか知らぬ、仕事は遡り勝で、埓も明かず、決斷もない樣に思ふたが、よく考へて見ると、そうでない。如何にも不さばけの間ではあるが、恐し人民は一般に樂んで服從して無理往生的に服從方法をしたと云ふことなく、其代り既に服從して實施と云ふ時になつて覆へす否の論が八釜敷起ることの無い樣にすることである。是が即ち王者の趣意で、これに因つて夏殷周の時代の政を追想するに、君と臣とは其心持が一致して居て、互に愉快に打解けて話をし、成る程、如何にも左樣と云ふ風で、朝廷の中の評議にも少しも四角張ることもなく又議論もなく、友達の間の親しさも及ばぬ程であつたらう。又是非曲直の論が起りて論爭攻擊を交ゆる事もあつたらうが、それも何の不思議もない。各其所信を吐露するは當前の事である。

それから又堯舜以後の事の擧げていつも屢々說論し、事の得失又こうするより外に仕樣はない、全く已むを得ぬ事情も說明したことを擧げて再び商鞅の遣り口に復つて商鞅はそうでない、其意中はこうであつたらう『色々と說も論もあるがつまり汝等は利を獲たらそれでよいのだらう。そうしてやるのだ。自分が爲る事に付いて彼是心配には及ばぬ。默つて見てるがい』こんな考へであつたから衆論は聞かうとも思はず又說論說明もしなかつたが、然し其政事は成功に終つた。之を見て後の論者は襲ろくていかぬと想ふたが、こゝが王道覇道の分れ目で大切な點である。抑も三代の君主等は人民を[illegible]んで之を欺くことは忍びなかつた。夫で人民の意向をよく察して成るたけ之を聽いてやるつもりであつても、どうしてもさうゆかぬ場合には繰返しく反覆丁寧に說論し臣を選て其者を選べ、極力說明し不同意者の心に落ちる樣にしたのである。夫れであるから人民は上に親みて上を愛するのであることゝが王覇の同からざる處であるとこう結んである。——

代議制は即ち輿論政治である。東坡が書經を讀んで當時の有樣を追想して書いた所は代議制の精神である。此精神をこんなに能く描き出したのを見たことがないから其概要を紹介することゝした。普選よりも此精神を政治家連中に深み込ませることに識者や學者が努力した方が急務であるだらう。今でも選舉者に對して種々說を述べはするが、其民を動して之を欺くに忍びずと云ふ點に眼を着けねばならぬ。寧ろ治者に此心ありて、徹底的にやつてゆけば、國會の必要も起らなかつたらうが、外部から刺激が必要となる。議會に君臣の心得とすべき言々一言にして邦を興すに足るべきその一言を强く求むるならば『君たること難し』の一言であらうかとあるが、さう心得て居れば緩むまいに、實際は六かしい注文である。民は由らしむべし知らしむ可からず。即ち知らしめようとしてもそれは不可能であると我つた。ところが[illegible]

言論界

中間內閣を排す
【國民】高橋子の內閣改造は失敗して內閣は總辭職の外なく、憲政會は[illegible]內閣組織の能力がないので暫く中間內閣を作つて政友會は之を後援し他日政權を政友會の手に恢復しようといふ方策らしい。然し立憲國の內閣なるものは國民の意志を體して責任を負ふもので、若し不可なる時は潔く其地位を去り政局の更新を求むべきもので、出處進退は公明なるを要するものである。中間內閣の如きは憲政の逆行である。

化學と藝術と政治
(中央)政治を宗教と同視して崇拜に依つて政治を行つたのは昔の事である。尤も政治は科學的であると同時に藝術的でなければならぬ。即ち人情を無視して理論一遍で押通しては成らぬ。社會主義の革命家は政治の藝術的方面を閑却すると評されてゐるが、之に反して現代日本の政治を批評する政治家殊に在野黨政治家が隈田某の樫死事件の如きものを取つて人心を刺戟し、以て政府反對熱を煽らうとする態度は、寧ろ政治を惡藝術化せんとする者で、殆ど天變地異を政治の罪に歸した昔の議論に似たものと言はねばならぬ。

米國の對日感情
(ジャパン、アドヴァータイザー)米國大統領は海軍大將デンビー氏の日本訪問を『友人的態度』であると云つた。實に華府會議以後急に良好となつた米國の對日感情の象徵である。若しデンビー氏が一年前に日本を訪問したら日本國民は直に米の對日戰爭準備と解したであらう。然るに今は氏の一行を平和の使として待つて居る是れもワシントン會議の成功を表徵するものである。日本國民は最近英國皇儲の御訪問によつて、實際的同盟は尙依然として存すとの信念を抱いた。吾人は米國海軍大將の訪問が日米兩國間の親善を益々促進せんことを熱望する。

屑屋の籠
ターナーの名畫(四)
鐵汀生

ターナーが幼い時に、獅子の畫を見て、其畫才を現したことは前に述べたが、これと同じやうな天才の話は、まだいくらもある。余は茲に英國肖像畫の二大家トマス、ゲーンスボローと、サー、ジョシュア、レイノルヅの逸話を餘談とする。

ゲーンスボローのまだ子供であつた時、學校の休み日には、いつも近所の畑や、生垣を成せる灌木や、また樹林などをスケッチして歩きまはつた。彼の畫題は、いつでも其近所に轉いてある自然といふ物であつた。ところが、或日のこと、彼は何氣なく一本の梨の樹をスケッチせんとて、圖らずも其熟つた枝の間に、人間の顏を發見した。そして盜人の遁げ去る前に、素早く其顏を寫して了つた。程經て、彼の見取圖は展覽會に出品された。それで、近所の人々が、皆其盜人の何人であつたかを知り、兼ねて又其盜人を早速に人々に知らせた子供の伎倆をも認識した。

サー、ジョシュア、レイノルヅが、まだ十二歲の腕白盛りであつた頃、或る日曜日に教會に伴れて行かれて牧師の說教を聞かされた。彼は退屈で堪らない。そこでスマートといふ牧師の顏をスケッチした。やがて禮拜の終るや彼は海邊に在る端艇小屋へと急いだ。そして此處でスマート師の大きな肖像を描いた。帆の一片を畫布とし、そして船に塗る繪具を以て。是が彼の最初の肖像畫である。『[illegible]は[illegible]あり』といふ。[illegible]其花を開かしめ、馥郁たる芳しき香を發せしむるに在る。但余はゲーンスボローの梨樹の話の如き、多分世の人が、此大家の神技鑑賞を信ずるの餘りに、自ら作り出されたる說ならんと考へる。我國にも、巨勢金岡の御殿の馬形の障子の話や飛彈の工匠の技倆に就ての作り話などが少くないではないか。

ゲーンズボローは、其藝術に於て彼をば肖像畫家とすべきか、將た風景畫家とすべきか、之を論ずることが困難である。讀者としては、彼の精神が溫和であり、詩的である。そして彼は其の魂を畫に入れて居る。彼の畫色は、レイノルヅの豐富であり、溫か味のあるに反して、稍冷たく、其の描く所三百頓、其の中肖像畫は二百の上に出る。又肖像畫の中にて名高いのは『デヴォンシャイヤ公爵夫人の像』である。夫人は當時交際社會の女皇であつた。高等法院判事『グラハム夫人の像』も亦最も成功したるものゝ一つだと云はる。夫人が此畫家の前に立つたのは、妙齡十九の春であつて、不幸三十五にして世を去つたが、夫グラハムはあきらめ兼ね、其活けるが如き肖像を掲げた室の戸は、常に之を鎖して置くとの事である。思はず余の談話が脫線して長くなつたことを恕し給へ。

東西南北
▼斯文會に御下賜金 儒道宣明の目的を以て事業遂行中であつた財團法人斯文會では今般新に基金を募集、事業を振興し諸般の施設を擴張する計畫ある趣きを聞し召され基金御下賜相成る事となり二十七日午後一時會長として德川家達公は宮內省に出頭拜受した▼財界不況の影響 近時財界の不況益々其根を深くし破產の申請を受くる者續出、今年に入つてから大阪區裁判所下だけでも已に其數百三十餘件の申請を見たが其の多くは整理の結果、續々破產の宣告を受けてゐる

三越吳服店 京城

六月一日より三日まで毎日午前八時開店
夏物吳服、雜貨大賣出し
新柄品、格安品、見切品澤山に取揃申候

好評再版
朝鮮總督府參事官法學士 萩原彥三著
朝鮮行政法
▲菊判 ●全一冊(總論●各論) ▲金三圓三十七錢(書留送料共)
本書は官制大改正後に於ける新々の朝鮮行政法なれば ▲朝鮮行政法規の本末を知らんとする人 ▲新に官界に入らんとする人 ▲各部行政の官務に從事せらるる人 ▲司法、普通、文官試驗受驗者 の爲めに絕好無二の好伴侶好指針として推奬するに憚らず(殘部僅少)

早川保次新著 大增訂 大改版 七版
朝鮮不動產登記申請書式並心得
▲菊判 ●全一冊 ▲金二圓六十七錢(書留送料共)
土地所有者、關係者、賣買業、代書業者ニ本書ヲ勸ム
發兌 京城本町二丁目(振替京城二四五四)巖松堂書店 賣捌 京城本町一丁目(振替京城二六七三)大阪屋號

登記公告
[illegible]
京城地方法院 水原支廳

萬人必讀の銀行活用の大寶典 池田毅一先生著 四六判 總布製 全一冊 定價金壹圓五拾錢 送料金八錢
最も有利なる銀行活用法
◎銀行に就ても知らぬと損して恥を搔く
事項 [illegible]
東京市外中野 振替東京六八九九 榮文堂書店

日本發賣
朝鮮司法警察法論
內田達孝著 (菊判全一冊) 定價一圓八十錢(送料書留十三錢)
立論穩健文章平易 事理透徹 初學者と雖能く之を解すべく洵に近來有益の作とす。殊に檢證及實況見分に於ては一々實例を示したれば確に參考たるべし 敢て攻法家の一讀を仰ぐ
發兌 京城本町(電話本局一二六六)(振替京城二四五四)巖松堂書店

最新刊
中西芳朗 かなりやの歌 一、七〇
田中香涯 間違だらけの治療 二、〇〇
高橋正 [illegible] 三、八〇
京城報日 朝鮮最新書式大全 五、〇〇
京城 大阪屋號 振替京城二五七三番

東京商科大學調查部編纂
訂正增補 商業書式
【最新刊】商業界空前の寶典
從來商業方面に實際用ひらるゝ各種書式を完全に蒐めたるもののなきは吾人の常に遺憾とする所なりき。東京商科大學之に見る所あり夙に調查部を設け商業改善に資する諸般の事項を調查し其の一端として本書を刊行するや忽ち江湖の熱狂的歡迎と嘖々たる好評を博せり。然るに時勢の進運はこれが改訂增補を餘儀なからしめ玆に版を改め內容を增大一新して江湖に見えんとす。乞ふ銀行・會社・商店は勿論苟も實業に志せる者は其の學生たると實務家たるとを問はず速に本書を備へ以て時勢に遲れざらんことを!!
內容 一般 賣買・取引所・銀行・稅關・倉庫 鐵道・海運・運送取扱・各種保險
▼菊倍版總布製・正價金四圓三十錢▲
▼紙數二百九十頁・送料內地二十七錢 鮮支五十五錢▲
東京神田 三省堂 振替東京三一五五五番

專賣特許森田式
ガソリン消防ポンプ

株式會社 森田製作所
營業所 大阪南區久左衞門町 電話南長三三三六・九六一七
工場 大阪西區池山町四番地 電話西長一一〇四・九一一四
出張所 東京日本橋區馬喰町二 電話浪花長一五一七

＝懸賞募集＝
火事の恐るべき事は今更申上る迄も御座いませんが此の恐るべき火事も原因の大部分は各自の油斷からと判ればお互に常々注意しなくてはなりません、そこで弊社では防火と云ふ事を常に頭に入れて置くべく賞を懸けて防火宣傳の標語を廣く求める次第であります。
皆樣お互の爲大きく申せば社會の爲め奮つて應募して下さい。標語に限つた事はありません、都々逸でも川柳でも俳句でもかまひません、短かくて覺へ易く要領を得たものを歡迎いたします。
(一例。雨は天から涙は目から火事は其身の油斷から)
御投書に付注意
一 用紙は葉書をお用ひ下さい。一 締切大正十一年六月三十日限り。一 發表は同年七月中旬。一 御投書の方は御住所御姓名を明瞭に御認め下さい、御投書の葉書には懸賞係と朱書して下さい。一 入名は次の處に願升。
大阪市南區久左衞門町 株式會社 森田製作所
賞品
一等 五拾圓 一名 二等 貳拾圓 二名
三等 五圓貯蓄債券 五名 四等 ユカタ地一反宛 二十名
五等 美術名畫葉書 五十名

米、露覺書撤回要求

【哈爾賓電報】タイムス紙所報に依れば國務卿は佛國に對し若露國が彼の五月十一日附の覺書を撤回するに於ては露國も擴張委員會に參加する爲め米國は非公式的代表ならざる專門家を任命せんと通したりと云ふ

直軍灤州に入る

【天津電報】二十六日奉天軍四百六十名は山海關より營口に歸還し來りたるが直軍は灤州より一部隊の前哨を出動せしめつゝあれば近く灤州は直隷軍に於て戰鬪開始せらるゝ模樣なり直軍は二十五日灤州を占領したるが二十六日も引續き入城せる數四千五百步兵一聯隊騎兵五十砲兵五十輜重兵二百野砲五門其他五十名にして總司令部は城内中學校に置き他の一部を城外に分宿せしめ停車場にも配置し居れり當地の奉天兵は奉天軍に同情し居る向きあり各地に噂を吐き居れりと

吳佩孚氏援助に決す

日、英、米、佛、四國公使協議

【北京電報】北京政府の總辭職支那の政局一變したるより新對支政策樹立の必要に迫られ日英米佛四國公使は協議の結果當分の間吳佩孚氏を極力援助し統一なる統一政府を樹立せしむるに意見一致し夫々本國政府に請訓せり

叛軍奉軍と決戰す

【浦鹽電報】某所電報に依れば二十七日叛軍に接戰して武林に向ひ進撃せる叛軍は同日夕武林に達し二十八日午前同地附近に於て奉天軍と決戰したるもの如きも其の詳細は明かならず之が爲め奉天軍の武林以北の諸部隊は退却中せり叛軍の總指揮官は吳中將にして彼は吳佩孚氏の命令を受け殲滅に來り虎林兆南の到來を待ちつゝありし

叛軍混成旅の武裝を解除す

【哈爾賓電報】東支東部線に在りし張混成旅長ロエイヤは吳佩孚の命なりとして二十六日張混成第十九旅の武裝を解除し吾譯を占領す現在武林附近に在り

奉天軍入關築壘說

【上海電報】廣州に於る内情筋よりの電報に依れば山海關に引揚げた奉天軍は再び直軍入關し南路を塞ぎ形勢切迫せり速かに援軍を送れと之が爲の奉天軍の列車は盛んに南方に向ひたり右奉天軍の入關說は受取り難きも或は北方の陰謀有利となりたるためかとも思はる

廣東内訌砲火を交ゆ

【上海電報】廣東を防備しつゝある孫文氏の軍隊と廣東市街に駐屯し居れる陳炯明氏の軍隊との反目は益々甚だしく形勢惡化の傾向あり即ち陳氏の部下の旅長及び師團長の椅子の爭ひ合ひにて孫陳兩派は離き内爭を起し遂に二十七日孫派の旅長は陳派の手に歸したるところ之を見たる孫派の總司令官は二十七日夜廣東の兵工廠を砲撃し兵工廠よりも之に應戰して一時激戰を來したりと

奉天に掠奪行はる

【奉天電報】米天に掠奪行はれ長春の周圍は氣險狀態に在り

日露會議再開決定

【北京電報】不調と成りたる大連會議は近く復活し今回は浦鹽に於て再開する事に決定せり會場にはセントラルホテルを使用すべしとの說あり

鐵道局長會議

【東京電報】鐵道省にては二十九日午前十時より臨時局長會議を開き本省より元田鐵相、中川次官、[illegible]、大村經理局長、小平門司、[illegible]各局長出席し各地方鐵道局長より[illegible]に關し陳述あり[illegible]

總督視察

美術展覽會

[illegible]

庚申代議士會

【東京電報】庚申俱樂部にては[illegible]

總督稅關長招待

[illegible]六月五日午後[illegible]

和蘭國際聯盟專門委員任命

[illegible]

日本の新對支政策

聯省自治の風潮を歡迎

直隷派の勝利は支那政界に於て唯一の地位を占むるに至つた吳佩孚氏は既く北京に於て政治的關係を標榜して居る、勿論外部的には其の意思が勝勝しやうか殆ど露骨に政治に關與することはあるまい、而して其の敵手たる張作霖氏に對する[illegible]東三省は聯省自治を行ふ事となり[illegible]

財政問題を　伴ふべき事で

[illegible]

舊國會恢復　の呼聲が高い

[illegible]

日本の態度　は如何と云ふに

[illegible]

東三省が獨立　せられるが

[illegible]

尾野大將招待宴

三十日午後七時入城せる新任關東軍司令官尾野大將のために軍司令部に於て晩餐會を催したるが[illegible]

痘瘡豫防宣傳

[illegible]

稅務課主任打合

[illegible]

鐵道協會内容

[illegible]

大養總理曰く さう手輕には

解黨は出來ぬ

【東京電報】[illegible]

朝鮮は萬事懇談的に

地方長官會議に臨みて

何處も同じく地方費が問題となる

忠淸北道知事　米田甚太郎氏談

[illegible]

齋藤總督や　水野總監に於ても

[illegible]

餘裕がある　やうだ朝鮮と

[illegible]

密接の關係　にあることは

[illegible]

理解があり　既に大正十年

[illegible]

對支外交は吾不關焉

東三省獨立には日本は嚴正中立

國防省新設論は理想に過ぎない

尾野大將釜山にて語る

【釜山電報】新任關東軍司令官尾野大將は去る二十八日山陽線列車にて釜山に上陸十時發特急にて北行[illegible]

全部撤退する

[illegible]

都市計畫研究會

輪郭地域協議

京城都市計畫研究會にては第一部會を二十九日午後三時より公會堂に開催出席者約三十名部長古城管堂氏[illegible]

醫師試驗合格者

京城醫學專門學校に於て施行中なりし第十五回朝鮮醫師試驗成績は二十九日左記の通り發表[illegible]

京畿大地主氏名

京畿道管内に於て百町步以上の耕地所有者は二府二十郡にて三十一名[illegible]

間島商取引杜絕

[illegible]

干拓事業進捗

[illegible]

全鮮發着郵便

[illegible]

前途刮目に値する

地方費水產事業

豫算四十三萬八千圓

郡總督府水產課長談

[illegible]

各種の施設　を爲すに至り

[illegible]

技術者として　て道に在職す

[illegible]

五倍の激增

[illegible]

調査試驗の

[illegible]

相當の成績　を擧げつゝあ

[illegible]

漁船漁具を　購入せんとす

[illegible]

水產試驗場　の設置なき道

[illegible]

鮮內釀造業現況

五月末現在に於ける鮮內釀造業は株式會社二十九、合資會社十一、合名會社五合計四十五にして此公稱資本金八百十三萬五百圓拂込三百三十萬五千二百五十圓なるが資本金十萬圓以上の會社次の如し

	所在地	拂込資本金
日本醬油	仁川	[illegible]
丸金酒造	釜山	[illegible]
辻酒造	同	[illegible]
朝鮮酒造	忠南論山	[illegible]
三巴酒造	京城	[illegible]
朝鮮燒酎	平壤	[illegible]
北鮮醬油	咸北鏡城	[illegible]
朝鮮酒造	京城	[illegible]
元山酒造	元山	[illegible]
大邱酒造		[illegible]
朝日釀造		[illegible]
南鮮釀造	馬山	[illegible]
光州酒造	光州	[illegible]
木浦醬油	木浦	[illegible]
全南燒酎	同	[illegible]
蔡平酒造	同	[illegible]
嶺南酒造	慶南密陽	[illegible]
新義州酒造	新義州	[illegible]
龍岩浦興業	平北龍川	[illegible]
三矢酢釀	京城	[illegible]
中央醬油	同	[illegible]
北鮮商事	咸南甲山	[illegible]
大正醬油	釜山	[illegible]
群山酒造	群山	[illegible]
東亞鑛泉	京城	[illegible]
平壤酒造	平壤	[illegible]
西鮮燒酎	同	[illegible]
雲鮮合資	平壤	一〇〇、〇〇〇
羅南酒造	羅南	[illegible]

太庭大將歸任

三十一日鴨綠江岸視察より歸任の筈なる太庭軍司令官一行は豫定を變更し三十日午後六時四十五分南大門着列車にて歸任せり

總督邸午餐會

カーペンター氏招待

[illegible]

鮮內燐寸生產高

朝鮮に於ける燐寸製造會社は朝鮮燐寸、東亞燐寸、日鮮商行、鮮鐵燐寸の四社にて昨年の製產高四十萬圓[illegible]二十九萬餘圓に達し居れり[illegible]輸移入品に漸減の狀態にあり鮮內生產及び輸移入高を比較すれば次の如し

	鮮內生產	輸移入
大正六年	四五、〇〇〇圓	七七〇、〇三〇圓
同七年	七七、八〇四	一、一四四、一六一
同八年	二二〇、〇〇〇	一、四五六、八九六
同九年	三六〇、八九六	一、〇五二、三三八
同十年	三九〇、八九六	一、二〇八、七七〇

卽ち輸移入は漸減を示し居れるも昨年の生產高三十九萬圓に比し尙約三倍に當り居れるが鮮內に於ける工場[illegible]

煙草元賣捌人等級割引步合告示

三十一日總督府官報を以て大正十年告示第百二十一號煙草元賣捌人等級割引步合、割戾額及特定價格中改正[illegible]

豐山學校組合設立

三十一日總督府官報を以て大正十一年五月二十九日豐山學校組合（咸鏡南道豐山郡里仁面の內新設）設立の件告示せらるべし

辭令

今回左の通り辭令ありたり

囑託　安藤又三郎

出張命令

今回左の通り出張命令ありたり

總督府鐵道部長　弓削幸太郎

淸津、城津、吉州、鏡城、富寧、茂山、會寧、穩城、鍾城、慶源、慶興及琿春へ出張を命ず（二十七日附）

總督府專賣局長　靑木戒三

朱安へ出張を命ず（二十九日附）

總督府事務官　張憲植

江原道管內及欝陵島へ出張を命ず（三十日附）

牧田軍醫監挨拶

二十九日著任せる牧田朝鮮軍軍醫部長は三十日午前十時軍司令部に初登廳各課に挨拶し引續き總督府其他關係方面を訪問せり

新舊課長の歷訪

總督府鐵道部京管局運輸課長安藤又三郎氏は今回本社へ轉職し後任岡田亮之氏を紹介旁々轉任挨拶の爲め三十日關係方面を歷訪せり因に安藤氏は來る六月四日午前十時五分發列車にて出發赴任の由

●京管局員の安藤氏送別會　京管局運輸課長より本社參事に榮轉したる安藤又三郎氏の爲め局員有志は三十日午後六時より朝鮮ホテルにて送別會を開催せり

人事消息

▲中村慶北財務部長　三十日朝退城
▲今村黃海道財務部長　二十九日夜退城
▲高根信禮氏（木浦商議副會頭）　二十九日入城山本へ
▲奈良次郎氏（木浦商議會頭）　同上
▲村上直助氏（全南道評議員）　同上
▲志岐信太郎氏（朝鮮天然氷會社長）東上中の處二十九日夜歸城

═本日十頁═

表現　名篇揃の六月號出來　二松堂發行

本號はゼノア會議の批判●特殊部落の解放に就て七名家執筆其他論說文藝創作等一粒選りの名篇溢る內容に就ては茲に喋々せず最寄書店に內容の實價を見られよ

▲東京神田錦町一ノ十六　振替東京第三四〇九番

百萬圓は斯くして容易に得られる

百圓の元金を年六分に廻せば廿三年間で三百八十一圓九十錢同じ百圓を年五分に廻せば廿三年間で百十一萬六千五百廿一圓八十一錢の大金となる。六分と五分は實に驚くべき大差を生ずる此金利の作用を會得すれば忽ち富者となり得る。

富の研究大家　河村致堂先生著

貸金利殖の研究

不景氣時代唯一の金儲け十萬

一讀千金

京城永樂町二丁目　榮文堂

京城永樂町二丁目　入院隨意　酒井婦人病院　酒井一郎

名灸唐者　鍼灸　阿是名穴集　鍼灸業者灸點療法無二參考書　神仙秘法の灸奇穴集　全五卷

家傳秘法　青梅と漬梅にて

易界に比類なき的中術考案　萬人萬家と株界に無二寶典

眞意傳信　術占ひ方

誰にも株數一つで出來る　株界の　正夢に現れ

發行　勇益社

京畿道事情【六】

（二）財政＝併合以前本道に於ける財政の施設は始政の方針に從ひて極目整理の緒に進捗しつゝあり出來朝鮮の人は比較的租稅觀念に乏しく從つて徵稅者が一般人民に徵收を容易に納入せざる狀況ありしも近時舊來の徵稅者が一般人民に對する共同生存の本旨を十分了解せしめず稅の賦課は輕重を是正し不法の徵收を除き公課の徵收は盛んに行はれたる結果稅收の增進しきを得ざりし主因たる結果を以て新政施行後は專ら稅務の改善に努むると共に負擔の公平を期し又下級徵稅機關の監督に意を用ゐて徵稅機關の整理を圖り又徵稅機關の監理を勵みて從前の弊風を一新して目下は頗る好成績を以て進みつゝあり

（イ）國稅＝大正九年度に於ける本道の國稅總額は八百八萬六千五百九十八圓にして之を明治四十四年度の七十一萬七千百九十四圓に比すれば實に七百三十七萬一千餘圓の增加を示せり國稅中其首位を占むるは煙草稅の四百二十五萬三千八百九十圓にして總額の約五割二分を占む其次は地稅の百三十七萬六千百六十五圓にして總額の約一割七分に相當せり然れども大正十年度以後は煙草專賣令實施の結果煙草稅は自家用耕作者の輕微なるものゝみとなるを以て著しく其額を減少し地稅が本道國稅の首位を占むるに至れり本道に於ける國稅の課稅種目は地稅、市街地稅、所得稅、鑛稅、酒稅、煙草稅、證券稅の七種とす

（ロ）驛屯土收入＝驛屯土收入とは驛屯土又は之に準じ取扱ふ土地より生ずる收入にして驛屯土とは驛土屯土の總稱にして驛土とは李朝の初め驛站を創設し其費用に充つる爲一定の田畓を附與したるに起源し驛吏は總て之に依りて衣食し居たるなり又屯土とは各道に置きたる軍營の給與に充てたる土地なりとす然るに財政の整理に伴ひ國有に歸したるもの……生ずる收入は國有土地の收入として……近時は驛屯土の收入は常に國庫の收入に屬すべきものとせり從つて驛屯土收入も亦之に準じて取扱ふべき土地の收入及收入方法等に付ては幾度かの改正ありたるも現今に於ては一定の標準に依り小作料を定め毎年收入時期の穀價に換算し現金を以て徵收しつゝあり

流行の猩紅熱に就て　各家庭の注意を促す【上】

府立仁川病院長　河崎貫一

【仁川】大正十年春以來散在性に流行を見たる猩紅熱は本年に入り依然として猖獗を極め多數の子女の生命を奪ふに至り或は府立避病院に收容した患者を治療した經驗より其一斑を記して

流行の跡を

回顧してこゝに其の概略を記して再びかゝる慘狀を呈せざる樣注意する事は敢て無駄ならざる事と思ひ其の一班を記した いと思ふ統計の述べるのは猩紅熱として避病院に收容した患者に就て其の患者に危篤に陷り死亡した患者の多數あるも其れ等に就いては述べる事は出來ないが

先づ猩紅熱とはどんな病氣かと云ふに其の病原に就いては東西の學者が熱心に研究してゐるが遺憾乍ら不明である然し其の傳染力は麻疹の樣に一般的でない即ち麻疹は殆んど凡ての小供を犯し罹患せしむる傳染力を有するも猩紅熱は小供に必ず罹ると云ふ事はない其の

病毒は直接

に患者と接するにより或は患者に接したる人或は物品を介して第三者に感染する病原が不明なる爲其侵入する所は不明であるが扁桃腺或は咽頭が主で皮膚粘膜の傷より侵入することもある發生する季節は扁桃腺或は咽喉を傷め易い寒冷の頃で今年の流行で見ると殆ど關係なく月二人の割に發生して居た年の一月より十二月迄は季節と殆ど

依然增加し

て十三人三月が今年に入り一月に四人二月には二十七人になり四月には減少して九人五月には六人の發生患者を見て居る年齡の關係は三歲から六歲七歲迄が多く傳染病院に收容した患者でも一歲未滿の患者は一人も無く二三歲が五人四歲が三人五歲が八人六歲が七人七歲が九人八歲が三人九歲が六人十、十一歲が七人でそれ以上は年齡の增加と共に減少し十六、十八、二十六、二十八、三十、三十一、三十二、三十四及四十歲が各一人である本病は一度罹ると

終生免疫性

を得て再感染することは極めて稀である潜伏期は三日から八日である發病は突然惡寒と共に發熱を以て發病し（三十九度乃至四十度）嘔吐、咽頭痛、頭痛なる一般症狀を以て起り發疹は發熱と同時に來る事或は十二時間乃至二十四時間後に現れ發疹は甚だ小なる斑疹の

鮮紅色斑點

で皮膚面より隆起しないのが最初頸部胸部或は背部に現れ漸次上下肢にひろがり遂に全身に發生して其色を增し各斑點は相融合して遂に皮膚全體が赤色で發疹した樣になり家人でも一度見たら忘るゝことの出來ない印象を殘すは唇、顏鼻には發疹なく三角形の蒼白色を呈し一見特有である發疹は三日乃至五日間は其最高度でそれより發生した順に褪色し第二週の初めより落屑を始める

落屑が全部

終了するには四乃至六週間を要し發疹の著明なりしもの程早く且大きく落屑する樣に思はれる落屑中の患者は傳染性を有し全部落屑が終れば先づ傳染力が無くなつたものと見てよろしい故に避病院の隔離も落屑の全部終了する迄解くことは出來ない

銀行團申合せ　斷乎拒絕　平每の寄附要求を

【平壤】平每社は改革後の第一事業として中丸新社長は其の辣腕に訴をかけ社屋移轉を實施すべく大同江岸元信託會社跡に交涉し茲に移轉する事に決定せるも何分工場だけは新築せざる可からざる事情あるより茲に經費約一萬三四千圓の巨額を要し……の寄附行爲に就ては金融業者を持續したるを以て近日銀行團に交涉し……を集せるもの共に銀行團の見解を要すべき……元來金融の寄附行爲に就ては金融業者の寄附行爲を禁じたるを以て近日銀行團と共に交涉を纏めるものなり其他に對しては此際手を……を無視するものなりと批難の聲あり右に關し大同銀行頭取諸山嵐氏の言ふ所によれば……を申込んで來たのも事實なら是を言下に拒絕したのも事實である

事實

である、お寺ちやあるまいし私有財産になるものに對し誰が一文だつて寄附するものかもとく今回の改革は改革にあらずして改惡であつて無に不純な動機を有する以上銀行團として此の如き要求を斷乎拒絕したに就て如何に新聞に惡く書かれても私は悲

良心

を滿足させたい云々と溫厚の君子を以て聞ゆる橫山氏にしてこの言あり以て他の一般は察知するに難からざるべしと說くもの多し

一策

を案じ其の新築費を一般銀行會社及び其他有力者の寄附に仰ぐ事とし先づ中丸專務は大同銀行を訪ひ事情を訴へ一萬圓の寄附を強ひたるに橫山頭取は是同社の改革が甚だ不純な理由と非人道的なりしを知るに私に平每新聞の爲め資圖しつゝありし折柄の親和の爲め資圖しつゝあり……とて言下に今次の改革の非なりを說き併せて其の

強要

を斥けたり又朝鮮銀行支店なる五島氏にても橫山氏同樣の態度を執り此際絕對に寄附せざる事を申合せたる由にて今や至る處平每社に對する不滿の聲漲れり

間島より

渡邊生

◆我駐屯軍が間島より引揚げ前後は當の數に上つて居つたが直隸支那官憲は支那軍隊は大に其數を增し墾官も相當より間島に居る支那軍は毎日の樣に派遣して居る支那軍は毎日の樣に入目に附かぬ如に吉林寧天山郵局方面に出動し今は間島に於ける支那の警備力は二分の一より三分の一の間に居る、龍井には僅に六七十位となり吉林局子街も同樣で全間島で二百か三百位に過ぎない兵數となつた

◆直奉交戰の前後より間島の警備は非常に薄弱になつて居る故之を見抜いた匪賊不逞と赤化の三番は間島に活躍せんとする時機を待つて居る四月二十一日に德州駐箚の將軍が一度に三千失ふて其補充として間島より兵を繰出した後には盤石縣撫匪監視及び相當多數の巡警を間島に派遣し無論兵隊を以て間島の警備に任ぜしめたとしたが未だ實行されては居らぬ

◆吉林官帖は昨今大に下落し我間島に對し百二十吊の交換率となつた之が今日では一吊が五六十錢であつた相場は七十五分の一に下落しループルと同樣となるに係はらず吉林に於いては檢閱財政整理を名として二三百萬吊を濫發した官帖は當分の中下落二萬と見込を支那人はつけて居る今日朝鮮銀行が間島になかつたならば間島は通貨に大に困難を感じたであらう

◆龍井を拔きにして間島全體に戒嚴令を布いた通信の自由を奪はれたため商人は大に困難を感じて居る幸ひに日本郵便局があり新聞がある故これを通にし北京、天津方面の樣子を知るばかり特に東三省內の新聞は僞報と名付けて信用しない

◆吉林寧天に於ては各縣より兵を募集して居るが應募者は存外少いそれは危險地帶に行かず深林地方の警備ならば應ずる者もあるらしいこれは給料よりも目的は阿片密輸を希望するかの如くである故に戰場に出動するを好まぬといふので軍官も大に失望して居る樣子である

◆吉林省を通じて支那兵には三ケ月間給料が不渡りで徐々と不平を鳴らし始めた四五月も不渡りなれば其不平は段々と增すのみで馬賊と變せぬとも限らぬ或は先年琿春事件の焉に少き財產を掠奪せられた揚句に生命をも取られとし幸ひに助けられて今日まで生存して居るが彼等の兵となりし（モウケ）のため馬賊若くは掠奪となるのも窮財のためであるから困つたものである

鳴物入りで　上機嫌の大會

【釜山】既報の如く來月三日より五日に至る向ふ三日間釜山に於て開催さる可き第三回花柳三業大會は其後着々準備進捗中なるが全鮮各地より の出席者場所柄の多數に上る見込みにて各係分擔の設備委員は夫れく準備に忙殺されつゝあるが時日

寄書大會

【安東縣】安東縣滿鮮寄書會の主催にて來る六月四日午後一時より同四時までの間に於て山下町松濤幼稚園に於て寄せ書大會を催す由なるが會費を要せず成るべく多數の會者を歡迎する由なりと（安東縣）

府戶別割附議

【釜山】三日の本會議に釜山府大正十一年度戶別割賦課の件は十八日以來引續き委員會を開催し審議中なるが二十九日全部の査定を終り來る六月三日本會議を開き附議する筈である

內地輸出材弗々

【安東縣】鴨綠江材の內地輸出は其他搬々しからざるも安東縣無限公司にては主として阪神、九州方面、廣島、徳島、宮山、京都の各地に弗々輸出しつゝある由なるが同公司分の取引ある由みにて毎日二十貨車內外約三四萬才の取引ある由

開平炭輸送復舊

【開平】滿洲開平炭は今回支那動亂の影響を受け一時輸送杜絕の狀態なりしも戰亂意外に早く形勢一變したるを以て近く輸送開始の筈なるが同炭山は戰亂中も依然常態に近き坑內作業を繼續し居たれば

青葉若葉に風薰る　五龍背の大園遊會　空前の盛況に送られて春は逝く

【安東縣】京城日報安東縣支局と安東新報社の主催にかゝる五龍背溫泉の大園遊會は青葉若葉に風薰る五月二十八日開催せられた、この園遊會の一として擧行するものであるが一昨年を第一回として毎年々中行事頃より當日

特に安東驛

の好意により編成せられた臨時列車の發車する約三十分前より會員の殺到するもの頗る多く九時半の發車までに驅け付けた會員の數は五百名に達し四輛の客車は殆ど鍵を立つるの餘地なき程であつた、列車に薰風を突いて一路平安五龍背に到着するや數日前より驛の設備は成り、山上には萬國旗を翻し山下の庭園には紅燈を吊るして景氣を添へ庭球のコートに設備して餘興場は萬端遺漏無き迄に裝飾せられてあつた、當日天氣晴朗暖か暑さに過ぎた爲めに開放せられた聚樂館の浴室に

飛び込む人

が多く本館も老館も殆ど滿員客止めの盛況を呈する、やかて午前十一時半より會費一品の抽籤引換へに撒常お酒を配りおのく綠蔭風涼しき邊りに三々伍々中食を取り徹醉加減の喉の聲なども聞えて一層の賑やかさを見せた正午十二時よりビヤホールを開き上戶黨を喜ばせ午後一時より餘興に移り在安東各料亭の美人連によりて演ぜらるゝ各種の餘興があり同三時より

當日の呼物

であつた大抽籤に移つたが一等賞は五龍背溫泉ボーイ宋某の手に落ち二等は遂に發見せらるゝに至らなかつたが數百の景品中途に發見せられなかつたものが十數個あつた、斯くて豫定の如く一日の愉快を盡して午後五時二十分發の臨時列車に分乘して無事散會したのは午後六時前であつた

鎭海神社祭典

【鎭海】鎭海神社例祭は既報の如く二十六日より二十七日に亘りて執行した市內各戶國旗を揭揚じ献燈を吊して大に景況を添へた二十七日は二十六日午後七時より數發の煙花を打揚げると同時に境內に於て執行した、午後一時祭典を執行した當日海は參拜者數の激增と共に同夜の……

釜山水道　水缺乏　近く時間給水

【釜山】一時少康を得た釜山水道も近頃の天氣續きと一般府民の節水觀念に緩みが來た爲め最近に至り聖知谷高遠見の兩水源共水量頓に減じて日々に涸渴して來たので府當局の苦慮一方ならず近く時間給水を斷行し節水を行ふ筈である

赤愛總會盛況

【水原】赤十字、愛婦水原委員部總會は既報の如く二十八日午前十時より開かれた、愛婦本部理事長の官伊賀、田中國水原各委員長夫人、大塚道知事、澤田警務部長、同丸山事務官、同官補佐藤夫人、愛婦支部長工藤夫人等の出席あり正午前十時の特急列車に乘り同驛頭に於て第一聲を發した臨時列車……名を午前十時の特急列車に迎へた……開會の辭を述べ檀原道支部長、祝辭、朝鮮本部の祝辭……總會の例を略す……

新義州府の　水源池視察團

【新義州】新義州府協議會の一行は四日の日曜日に府議員らの檢閱を兼ね水源池視察を爲す爲め鐵道局の社宅部に……一般府民に觀覽せしめたしとの主旨にて來る六月四日の日曜日に行くことに決す

貧困者救濟の　托鉢修行

【新義州】當地曹洞宗布教所主任松永一也氏は貧困者救濟の爲め托鉢修行して六月から毎月一日十五日の二回托鉢修行し夫れを基金として救濟するとの事だが基金は市役所に保管を依頼し貧窮者と協議を取つて適宜的に行ふといふ

大庭軍司令官

二十七日午後四時義州より來新義州ホテルに入れる大庭軍司令官は二十八日朝鎭江衛戍病院及守備隊を視察せるが午後安東縣に向ふ

貴族院議員團

滿鐵地方視察の貴族院議員團一行は六月一日午前八時新義州着列車にて安東縣に來り同地より京城に向ふべし（新義州）

尾野司令官

新任關東軍司令官尾野實信氏は三十日午後十時三十五分着列車にて安東縣に向ふ（安東縣）

經理部長巡閱

關東軍經理部長は五名の隨員と共に三十日午後四時三十分着列車にて來り三十一日安東縣守備隊衛戍病院兵器部隊等の會計檢查をなしたり（安東縣）

瀧山副領事

布哇ホノルゝ領事館在勤より安東領事館在勤を命ぜられたる瀧山靖夫郎氏は館務の都合により七月初旬頃着任する事に決したる旨內報ありたりと

流行しだした　傳染病　油斷が大敵

【平壤】初夏のすがくしさも漸く暑さを加へつゝ一シーズンとはなつた平南でもボッく傳染病患者が發生しだした本年は平南地方の氣候が甚だ不順で溫度の變化に晝夜差あり一寸した食物からでも病氣を惹起し易い少しの油斷から恐るべきアメーバ赤痢などに罹ることがある目下平壤慈惠醫院に收容の傳染病入院患者數は十一名に達したが其中赤痢患者六名パラチフス二名チフテリー一名腸チフス一名外に一名で平壤、江西、寺洞、黃海道、谷州、平北定州の者である。次に同醫院五月二十四日の患者數は七百二名で昨年の同月同日に比し約二百五十名の增加を來してあるが眼科の患者著るしく增加

地方集會

▲胡局長招宴（安東縣）安東縣稅捐局長胡振養氏は二十八日午後五時より支那料理鴨江春に席を設け五道尹、齊商埠局監督、史審判廳長、敎檢察廳長、李總商會長、富田領事、吉田警部主加藤安東警署長を招待して懇親の宴を張りたりと

第五回優勝旗爭奪　南鮮庭球大會

日時　六月四日午前八時より
場所　滿鐵大田鐵道コート
會費　金壹圓也（各費を要す）
申込期日　六月三日迄＝一團體二組
主催　京城日報社大田支局
後援　大田庭球團　社友會支部庭球部

演藝案內

▲大正館　鍾路特約店朝鮮活劇株式會社＝竹かやす　○五月三十一日より特別大提供　大正館　○喜劇「夜合が終つてから」全二卷　○正邦活劇「逆寄の前で」伊勢豐「磯原卜傳」全五卷（正劇尾上松之助一派大車輪）　○新派「爆彈ジャック」第一回全三十六卷の內第一、二篇四卷　米國アロー大映畫大活劇　ホキシー氏、メーリン・セイズ嬢

▲喜樂館　（日活直營）　京城本町壹丁目　電話五九七番　當る卅六日より引續き特別大興行　○活劇「一太郎やあい」全三卷　文部省推薦映畫　松竹キネマ特作　大阪朝日新聞に依つて小學讀本第七卷中一齣の悲壯なる實話を映畫化したもの　○實寫「大野球戰の壯觀」　○日活東京派第三部力作　白石柚彥氏作「彌榮の譽」全五卷　○米國ロバートソン・コール社傑作　連續活劇「海底の國寶」第二回　第三、四篇　死人の口第四篇海底の金貨

▲京龍館　株式會社直營　電話三二番　五月三十一日より特別大興行　○實話「一太郎やあい」全一卷　○活劇「奇人？怪人？」第三篇・第四篇危險　エーリアンハンター　○新派劇「海の人」全七卷

▲浪花館　明治町　電話二六〇　當る二十八日より再度の御目見得　大政岡演藝團來ル　○安東丸からロ　落語手踊　浪曲萬歲　○浪花節　一品鶴賀緑江　○引續き大正館の特別映畫

▲黃金館　電話一六三七番　○別れ潮　全五卷　○實演○杉浦長悅我家○長崎浦の醜夜

▲京城劇場　本町　電話七八　文福茶釜一行　第六回目　隣りの家　三場　第二番目　庭溫和會　二場　第三番目　子を產て知る　三場

▲中央館　永樂町二丁目　電話三〇一　○五月三十一日より新映畫　○實寫「猿飛佐助」全五卷　○活劇「アトラス」全四卷

▲浪花座　本町五丁目　●大阪歌舞伎　藤川粂春　藤川友丸一座　藤川友重

京日案內

嫁入簞笥　東京式精巧品　既成品數種有り、販價なること破格、御買求めに今が好時機　京城本町三丁目　村瀨簞笥店

賣地　吉野町二丁目六十九番地　坪三十五坪　岡崎町五五　淺川

事務員　男女數名希望者は履歷書携帶本人來談ありたし　京城大和町電話本局七二一番　東亞生命保險會社

分讓　蜜蜂豫約分讓致します　御希望の方は御照會を乞ふ　京城西四軒町　養蜂園

株券　金融　自九時至五時　御希望次第御便宜に取扱申上候　地方御照會返信料　明治町一ノ七六　電話本局二一四〇番　竹ド

乳母　至急入用　委細面談　京日仁川支局在社

店員　內地人年齡十六七歲の者至急入用府內に確實なる保證人を要す夜間通學の餘暇を與ふ　京城黃金町三丁目　山陽電氣商會　電本一四二五番

有給　男女外務員府內の地理に精通したるもの至急採用す希望者は京城府和泉町百五十四番地興友合資會社

讓ル　イモヅル自六月一日至同十五日一千本三圓自十六日至三十日一千本二圓右御希望の方は左に申込あれ　龍山漢江通二村洵三〇七　金春三

帳場　入用　右志望者至急左へ御來談あれ　保證人を要す　京城旭町一丁目　電話本局一千百八番　更科本店

購買入札　詳細は五月三十一日ノ官報ニアリ　京城郵便局　松電社外一路

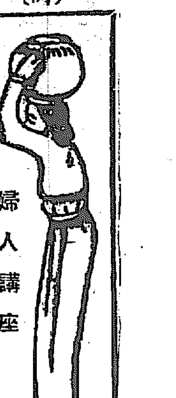
當る五月三十一日より公開
文部省推薦映畫　松竹キネマ特作
大阪朝日新聞に依つて眞相を傳へられし國定小學讀本第七卷中一齣悲壯なる實話
一太郎やあい
米國アロー社特製品　連續大活劇　ジャック・ホキシー氏主演　メーリン・セイズ嬢助演　全三卷
爆彈ジャック
第一回、第一、二篇四卷（全十二篇三十六卷の內）　芳大學々生たる勇敢なる青年ジャックと花の如き牧場の女主人公ベッス嬢と協力して獰猛極りなき惡漢と壯絕快絕なる一大猛鬪！！　アートクラフト大映畫　正喜劇フレッド・ストン氏主演
陰の名優　全五卷
澤村四郎五郎一派大車輪　諸國漫遊記
塚原卜傳　全五卷
大正館

●新案補助氷削機●特許ミルクセーキ製造機とは是非氷屋さんに必要ですからお勸め致します
●在來の鉋臺に取附けた圖●此の機械を臺の前面に取附けますと輕く樂に氷が削れ升本機は一般家庭用となる
●ミルクセーキ製造器　此機械でやれば一分間もかゝらず立派に一度で二人分出來升
●是れで愛は力は半分で濟します
各地特約店急募
アイスキー商會
東京日本橋區馬喰町特約店（振替東京六八九〇番）（電話浪花二〇六番）
●要御照會郵券二錢
●工場府下南品川

◎どんな難病もきつとなほる
專賣特許電氣治療器
本器は自家の電燈に差込んで皮膚に接するの恐るべきコレラを防ぎ赤痢、下痢、腹痛等は加療數時間にして治療の目的を達する、電燈に使用し即刻且確實的な本器は其他一寸快なる氣分と共に發効の顯著なる事を自覺する本器は其効果に於て一層散手間の高價
此アクルミーの原理に依り創作せられたるもので今日迄の科學の範圍に於ての電療器中本器の如き最高の特長ある物を見ず本器の最も優れたる特長一分間筋肉運動を全身に施與し強力なる電氣の刺戟を與へず、然も加療中は繩氏三十八度を保ち本器は電燈に押込んで使用して電力は普通に點燈出來る業務に必要なる……世界的發明品であり
かに拾入出詳細はハガキで東京本局所部宛電話下谷七三二三申込次第說明書を無代進呈致します……分の使用にて電力……
朝鮮京城本町二丁目
日本電解工業所朝鮮出張所
電話京城本局三三八四番　振替京城六四番
販賣店
【特約店希望者は當出張所へ申込まれたし詳細回答仕候】

品質本位
花王石鹸

美術精巧　寫眞貼込帳
あなたが會心の印畫は弊社のアルバムに依て始めて永久に實化されます
東京小石川大塚下町
▼大寫眞器店に求め▼諸方の紳士淑女▼……



婦人講座

戀愛の新傾向と變態性慾に就て (三)

醫學士 高橋毅一郎

◇悲劇『淋しき人々』 獨逸の劇作家ハウプトマンの作に『淋しき人々』といふ有名な劇がある、『淋しき人々』の主人公はその妻君に對して、妻君としての尊敬を拂つてゐる。しかし妻君その人は主人の趣味とピタリと合ふ婦人でない、そこへ主人の趣味とピタリと合つた若い女性が現れて來た、主人の心は自然にその若い女性に向ふ、その爲めに主人も妻君も若い女性も煩悶する。その結果主人は終に湖水に身を投じて死んでしまふといふ筋書になつてゐる。

近來我國の社會をさわがした戀愛事件も殆どこれと同じ傾向のものであると思はれる。彼等は何れも淋しき人々である、石原博士も石原夫人も、原女史も、伊藤氏も白蓮女史も、すべて淋しき人々である。そしてそれらの淋しき人々は、既にかうした場合に立ち至つた以上は取るべき道は更にない。悲劇は終に悲劇である。

◇阿佐緒と白蓮 たゞ吾々が惜むのは、何故石原博士は夫人との間に趣味性の調和をはからなかつたか、夫人も何故博士と趣味性の調和をはからなかつたか、伊藤氏も白蓮女史も何故さうしなかつたか、お互に調和をはかつたならば、そこには多少の調和が出來てきたに違ひないと思ふ。さうしたならばあのやうな場合に立ち至らないで濟んだかも分らない。けれども既にこゝに立ち至つた以上は白蓮女史なり原女史の取つた行動は止むを得ない道である。そして吾々は決してそれに對して同情を惜しむものではない。

◇戀愛は變態性慾 戀愛は、ある學者に云はせると一種のフェテヒスムス(變態性慾)であると云つてゐるが、之は誠に面白い言葉である。フェテヒスムスといふのは、異性といふ個人全部に對して戀愛を感ずるのではなくて、その人の身についた物件に對して熱烈な戀愛を感ずる處の一種の變態狀態である。たとへば、其人の履いた靴下であるとか、或はハンカチであるとか、或は頭の物であるとかいふものに、殊に愛著を感じるのであつて、持主たるその人に對しては左程の戀愛を感じない。所謂戀した人の寫眞が寳石が寳物くほと見えると同じ心理である。

◇一種の病的現象 戀はさうしたものであらう、どこがよくてあの人を戀するかと他人が怪しむ位でも、その人には云ふに云はれぬ魅力があるのであらう、この戀愛の一般的傾向は、たしかに一種のフェテヒスムス(變態性慾)であると云つてゐる。從つて戀愛といふものは、どういふ場合にどういふところから起るか分らぬ、しかしながら、フェテヒスムスが一種の病的現象であつて、これは決して健全性の人間にはあり得ない現象の如くに、趣味性の調和し健全な夫婦間からしては、健康な愛が生れ、それが悲劇的現象を起すやうな病的現象即ち病的戀愛は起り得ないであらう(完)

童話 人買船 (三)

吉田楚峰

『お嬢さまはどこから來たの』人買船の男は、猫撫聲で訊ねました。何も知らない千鶴姫は、

『あたし、九州からお歸りになるお父樣をお迎へに來たの、おぢさん、お父樣のお船は何處にゐるでせうね』

『お父樣のお船なら、おぢさんがよく知つてるよ。連れて行つてあげよう』

人買船の男はかうして何の苦もなく千鶴姫を人買船に運んだのです。そして船はまた沖の方へ動き出しました。

船の中は暗暗でした。やがて煤けたカンテラが點ると船内の一室は見るも恐ろしい髭武者の荒くれ男がギロリとして眼を光らせてゐるのでした。そして小さく可愛い、男の子や女の子がわなわなと、ふるえながらお母樣、おかあさんと泣いてゐました。

千鶴姫はどんなにびつくりしたでせう。しかし船は瀬へ瀬へと起つてゐます。もう夜の魔物のような黒い波がきこえる計りでした。

子供が欲しい
泣く子が欲しい
黒い帆あげた
人買船よ
子買はふ、子賣ろう

泣く子を買はう
買ふた子供は
何處に捨てよう
お山へ捨てろう
山へ捨てろ
捨ててしまへば
誰が知ろ

荒くれ男はおかしな節でうたひながら酒を飲んだり踊つたりしてゐました。捕へられてきた千鶴姫も他の子供達もやがて泣き疲れて眠つてしまひました。

翌る朝は千鶴姫も子供達も早くから傭容赦もない荒くれ男にたゝき起されました。そして千鶴姫が著てゐた紫、ちりめんの着物ははぎとられて、その代りに今迄見た事もない、めくら縞のぼろ〳〵のを着せられたのです。他の子供達もみんな美しい衣物も帶も脱がされて、帶といへば繩のようなものでした。それにその日から、みんなはそれ〴〵悲しい辛い仕事や憂目を見なければなりませんでした。

千鶴姫は早速御飯炊をさせられました。お米を小さい白魚のやうな手で洗ふことも、それをお釜に入れて煮る事も、大切に育てられた千鶴姫のかつて知らなかつた事でした。お米をかしいで水に流すとき米粒がこぼれたといつては一日中御飯を呉れなかつたりいくら火を吹いても燃えないのでシク〳〵と泣いてゐる頰ぺたをピシヤリと打たれたこともありました。それからお掃除のしようがおそいとか下手だとか言はれて打たれる子や雜巾掛が出來なかつたり、水をこぼしたといつて毆られる男の子もありました。

『お前達を山へ遣りや、これどころぢやねえんだぞ、朝は暗い中から叩き起され、道もない山奥の泉をさがしては一日中水汲みさ』

『さうよ、それも一分だつて休んで見ねえ、縛られて倉へ一日も二日もぶち込まれるんだ』

シク〳〵と泣いてゐる子供達を脅しにして、荒くれ男はめい〳〵山へ捨てた後の恐ろしさを語り聞かせては、船でする仕事の何んでもないやうなことを話すのでした。(つゞく)

子供本位の家庭芝居

お座敷を共稽舞臺にして 兒童自作の劇を上演し 家庭の趣味を豊かにせよ

最近ます〳〵子供本位のお伽噺、童話劇、芝居遊戯といつたものが隆んで行はれて來たことはまことによろこばしい傾向でありますが日本の家庭の娯樂ももう少し開拓して子供本位の家庭演劇を試みたら、どんなものでせうか

お芝居 といへばすぐ役者が顔に白粉を塗つて色々なこつた衣裳をつけて舞臺に立つものだと考へ、また役者のまねをすることなどは一般の家庭では嫌つてゐます、勿論さうしたお芝居ではなく童話劇に類した、ごく無邪氣な子供自身の心に溢れて來る生の喜びを浮ばせるやうなそして子供の理解出來るお芝居をもくろむことです決してお金をかけて大規模にやるべきではありませず、ふだん着のまゝお座敷を

舞臺に してそのまゝでやればよろしいアメリカなどでは家庭演劇用として紙で作つた、舞臺背景を賣つてゐます、山水の繪、庭の繪、座敷の繪の三つ位で簡單にすみます、そして子供は自由に脚本を作り姉さんとか兄さんに檢閲して貰つてから土曜日の晩か日曜日の夜に親族のおばさん、おぢさんやお友達を呼んで見て貰つてゐます、元來子供本位の演劇でありますからどんな立派な作家の筆になつたものでも

子供に 面白くないものは駄目です、子供は自分が作つたもので三十分位で一幕がおはる時間で仰山ですから子供の心を疲勞させてはいけないといふ意味から短い方がよいと思ひます『茶目子の一日』を演ずるにしても誰が主人役をするといふ規則をつけずにやつて見たい人にやらせる方針をとるとよろしい或る家庭でこの子供本位の家庭演劇を催してから小學校に行つてゐる子供の惡い習慣が矯正されたといふ話を聽かされました、だん〳〵研究して行く内に精神的にも家庭娛樂として立派にそだて行くとが出來ませう、たゞかうした方面の日本に脚本作家の生れんことを希望したいと思ひます(岡本綺堂氏談)

枡目をゴマかす奸商

警察でも鐵槌を加へるが 主婦も注意が肝心

卸値が下つても小賣値を一向下げぬと云ふので小賣商横暴の聲が時々耳に入るが、それは暫時別問題として置くが一寸不問に附し難いのは彼等の中に枡を間違へる者がある事である。一斗の米を注文すると九升三合か多くて五合位しかなく五百匁味噌を誂へると四百五十匁位しか持つて來ない、其他酒でも醤油でも殆どすべてのものに此ような誤りが多い雜貨屋の使ふ度量衡に間違ひがあるのか、計る人の目がわるいのか兎も角間違ひが必ず少い方に間違へるのは不思議である、警察當局では今後一層注意して斯ういふ間違ひをやる質のわるい小賣商を取締るといふて居るが主婦たるものは不精をして家にばかり居ず自ら買物に出掛くべきである又家庭には計量器を備へて無駄な損をせぬやうに注意が肝要である。

馬賊の頭目

鴨綠江上流に集る

最近鴨綠江上流鴨綠安圖江長白の各縣下には馬賊の守備薄きに乘じ馬賊の大小集團所在に出沒して掠奪せんとする氣勢を示し我官憲の警戒によれば明山といふ小頭目は約三十名の部下を有し小龍龍は四十名位の部下がある、小金子龍江の二名は約七十名の部下を擁して居り又長白縣に根據を有する振東洋、鑑東邊、天下好、靠山四頭目は約二百名の部下を以て大に活動せんと試みて居るそうだ。一時戰死説を傳へられた長江好も尚ほ生存して居るらしく洪子、鐵龍、除山甲、鐵燕山と云ふ恐ろしい名の馬賊の頭目があり其外稍名高い頭目は天龍、銀龍、俊子、家地龍、公平等が居り相當活躍して居る模であるが鴨綠江沿岸の防禦は對岸の事とて餘り大仕掛けの仕事は出來るまいと一般に觀測せられてある(安東縣)

眞綿で首を絞める

諧謔と巧妙な譬喩の中に 會衆を無精に笑はせて感銘を與へた 三時間に亘る沖野氏の講演

本社後援京城基督教青年會主催の文藝講演會は二十九日午後四時半より南山町第二高女講堂で開催、講師は宗教家で現文壇の流行兒である沖野岩三郎氏、演題は『家庭と文藝』といふので文藝愛好家は勿論官吏銀行會社員宗教家教育家學生などあらゆる階級の人々を網羅し殊に婦人の聽講者が非常に多く會衆の約三分の一を占めてゐた

定刻青年會の笠谷氏主催者側を代表して開會の挨拶を述べると沖野氏は東道役の高橋氏の紹介により破るゝような滿場の拍手に迎へられて肉著のよい體軀を壇上に運んで文藝の一分野たる童話と童謡の向上發達、神話の價値より說き起して兒童の智的發育狀態と此時代に於ける趣味及び童話教育の必要を適切なる譬喩と巧妙なる諧謔を交へて述べ

子供の童話童謡に對する興味は絶大なもので著しく向上し兒童が大人も及ばざる程の立派な創作をする時代となつたとて詩育效果を以て知られた茨木縣多賀郡若柳小學校の兒童が童謡の感化によつて性行醇化し全生徒の作を集めて斯くの如き童謡集を出版するに至つたと手にせる『童謡の唄』を紹介し斯くの如く子供の世界は進歩しつゝあるに大人の興味は依然として低級なる浪花節や俗惡なる謡謡の様なニーモアで會衆の首を絞め又母たる人は一家庭の童話作者たれ又聽き手として愛と平和の中に子供を育くんで行きたいと云々と約三時間に亘り得意の饒舌と巧妙な諧謔にも會衆を倦怠させず始終緊張を持續させつゝ而かも多大の感銘と暗示を與へ午後七時二十分近來になき盛況裡に閉會した

沖野氏の講演 (廿九日京城第二高女にて=肥塚寫眞撮影)

若紳士姿を消す

投身自殺したか

二十九日夜下關を出航した連絡船新羅丸が三十日朝釜山港口に差蒐る頃に至つて一等船客の名簿に東京府下巣鴨一五ノ五星島満次(三〇)とある若紳士姿が見えぬので大騷ぎとなつたが遂に釜山棧橋に着船するまで發見しなかつたが遺留品等により察するに玄海に投身自殺を計つたものらしく目下身元へ照會取調べ中(釜山)

冬物の藏ひ方

先づ軟水で洗うて

昨今は冬物の藏ひ時で着物はなるべく解いて生地を洗ひ仕立て直してから藏ふことが肝要でその洗ひ方は木綿だと軟水で洗ふに限る軟水とは極く冷くない水をいふので石鹸を使つても直ぐ湯がパット湧き立つ位稍温味のある水で洗ふのである水道の水なら湯に沸かしてから洗ふ方がよい白地は其儘洗つて差支ないが染色の木綿物は布片の極一小部分を曹達液と石鹸の灰汁で別々に洗ひ一旦干してから本洗ひを爲すのだが無暗に洗ふと色が褪せて終つて折角の着物も臺無しになるから注意せねばならぬ毛織物は微温湯で洗ふに限る汚れた着物はモ・ルセール石鹸にアムモニアを少量混ぜて水一斗につき石鹸三十匁の割合で摑み洗つても好いが濯ぐ時は微温湯で十分濯いで輕く搾る色物は形干をして白地の上からアイロンか火熨斗で皺を伸ばすのである

女中難の緩和策として

朝鮮婦人を雇用せよ。 親切に教導すれば餘念なく働く

永島信子夫人談

女中難の際は大方の家庭にかもされてゐるが之が緩和策として朝鮮婦人を採用してゐる永島地方法院檢事正の夫人は次の如く語られた

女中排底の原因は社會の經濟關係が進んで、結局女の職業が開められ物價を得る方法が比較的に容易になつてきたのと、今一つは過去の女の職業が殆ど認められなかつた當時の習慣から家政方面にも顧慮されず一面女の就職が容易になつたのみならず工場にせよ會社銀行の事務員にせよ晝夜の自由さへも得らるゝので

職業の轉換 を行ふ樣になつた譯で、一面から云へば婦人社會の進歩を意味し喜ぶべき現象かと思はれます、併し現在日本の生活樣式から觀て全く女中撤廢といふ譯にも行かぬが主婦たる者は今少しく女中の價値を認め其の生活を合理的ならしめ少くとも夜間の二三時間は自由な時間として個性研究の餘地を與へる事は最も至當な事と思ひます、倘又一方には物資なども經濟學上からして其の土地にあふくといふは原則ですから之等の意味からして

朝鮮婦人を 雇用し監督することにしても女中難の緩和策としても最も意義ある事で此の後大に此の方法により緩和の第一策としたいと思ひます現在私の家庭でも鮮女を採用してゐますが私の數年の經驗から見て家事の能率は內地婦人よりも遙かに高い事は事實です

親切に教導 さへしたら實に餘念なく働きます、たゞ之れに就て一つ遺憾に思ひます事は元來文化程度を異にし言語風俗習慣を異にしてゐますので使用する方には多少の言語を知り尚少くとも指導的頭腦で接せねばなりません、私の見ます處では兎に角今日の日本婦人は狹い量見に捉はれ過ぎてゐるので眼前の細かな事にもすぐに嫌惡の差別を付けて感情の平和を保つ事が出來ない樣で、研究的な處がなく

正直と親切 が足りない樣です、實に今日の朝鮮婦人の善導にはたゞもう正直さで接すべきで之れでこそ內鮮融和の實もあげらるゝのですが、女の正直といふのも其大方は甚だ疑はしいもので嫉妬などでも男子は公然に法律にさへも出してゐるが、女のに至つては其の嫉妬の樹を發表さへしないのであるから推されますが、女中難の緩和策として鮮婦人を代用すれば先づ徹頭徹尾正直を主體にしなくては却て大きな意味からして有害です

義太夫界

▲釜山の千代太夫が來た同人は永年釜山に住居し稽古屋としては南鮮に於て定評あるやうだ▲頭の禿た者が切に廻ると限つた譯ではあるまいがこの頃京城でも禿頭がドッサリを語るやうになつて來た▲晴曾の古參者隱岐石水君は御夫婦共義太夫が飯よりも好きらしい、近頃新口を稽古してゐる▲土井松曉老の世話物は定評あり何時も面白く拜聽するが先達の卿は失敗だとの評に老巧で達者なもの、君にしてソウは少し癪があつたと思ふ▲鶴國太夫は病氣で目下歸鄕中だが大分快方に向つたので近日中歸るらしい▲西ゐろは會の人氣男長谷川美代八君、暫く消息が分らなかつたが近頃稼業に一生懸命▲同會の靜鐵であつた中山葉翁もサウ語らなくなつたらしい、昔は鳴らしたものだが……▲皐月會幹事長の後藤鴻江君の中將姫を聽いた矢張時代に於て特徴が現れるやうだ▲播磨會の高橋園君を本町二丁目師匠と云ふ三丁目にも師匠はありや

軌道に石を

三十日午前零時頃西大門署西小門大寺巡査が竹添町三丁目鐵橋附近を巡察中石油罐に空俵一俵に重さ約三斤位の小石三個を詰めて置いてあつたので取敢へず軌道外に取除けたが多分小兒が面白半分に進行中の電車を顚覆せんとしたものらしいが危險千萬なことである

世界一週飛行機 マルセーユに到着す

[illegible]

商業通信を訴ふ 紳士三千二十五圓の損失

[illegible]貨幣の契約をなし大正十年二月十五日から私設通信設備[illegible]川米豆取[illegible]の注文取[illegible]階上に出入することさへ拒絶した爲めに折角計畫した通信が實行されないので一ケ月純益金三百七十五圓[illegible]に決定した[illegible]にある、該事件は地方法院で審理中であつたが六月三日判決があることと[illegible]

大捷 七午後四時に全仁川軍に挑戰して不戰二組優退二組を蹴して快捷した [illegible]

專賣局捷つ

二十八日午前九時より櫻井校庭に於てアカシヤ倶樂部對專賣局の庭球試合[illegible]

伊藤江口 三 一 磯田岳
◎伊藤江口 三 二 永井小岩井
今井加賀 二 三 永沼園
會田宇治川 二 三 永沼園◎
◎藤田牧野 三 一 岡本坂內
藤田牧野 三 一 永沼園

大田高女試合

大田高等女學校[illegible]

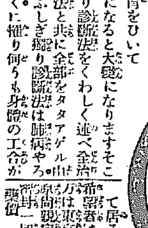
貯金奬勵印紙配付

遞信局にては今回貯金奬勵用として貯金の納金證を印刷したる[illegible]

中等學校入學準備 朝鮮 補習算術 定價八十錢 送料六錢
日鮮試驗用語 鮮語獨習解習 警察用語 定價一圓 送料六錢
文官 巡査 在官 試驗問題集 定價送共八十錢
朝鮮奇談と傳說 定價一圓五十錢 送料六錢
中學 高普 商業 女學 入學試驗問題答案集 定價九十錢 送料六錢
京城本町二丁目 ウツボヤ書店

色を白くし 肌を滑かす
洗顔クリーム
今東京大阪にて最も評判よく 致る處の化粧品店にあり
登錄商標
本舖 合資會社 愛久商會 東京芝虎ノ門

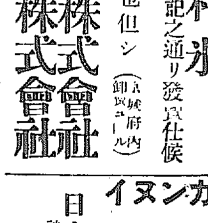
七不思議が有つたらスグ ロクマク 只アゲル
肺病獨診斷實驗ウニコール療法。
肺病感冒は急性に變化すると肺炎になりますが又此感冒が長引くとコジレて寒氣がしたり熱が出たりして體溫が一定せず毎日夕方になるけど氣分がわるくセキが出たり胸痛んだり底頭痛する方はありませんか凡て肺病ろくまくに罹る時は七ふしぎの徴候があるから自分にわかります又既に肺病のある人がその上へ感冒をひいて手後れになると大變になりますそこで此獨り診斷法をくわしく述べ全治療法と共に全部をタダアゲル◇七ふしぎ獨り診斷法は肺病やろくまくに罹り何うも身體の工合がいろ〳〵變である時自分に不審を解決する獨り診斷法であつて實地にピタリ的中します。▲全治實驗療法は肺病ろくまく患者最後の手段に病軀に實驗し驚くべき奇効に的中して危ない命を拾ひ助かつた人が數知れず遠國からわざ〳〵よこした全治禮狀のみでも既に數千通に上つて居る人助けの療法である
希望者は東京は直接御來車のこと遠方は東京市日本橋區呉服町二番地安原商會へ無代ハガキを出されよ全部を一切無代で郵送す
藥價一圓、三圓、五圓五十錢、十圓



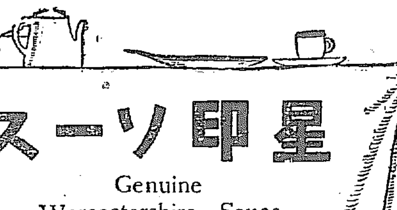
來る一日より五日まで
夏衣大賣出し
彌々明日より今夏流行の錦紗、御召、名仙、久留米がすりの新柄豐富に大▲價で提供致します何卒皆樣御誘合され賑々しく是非御來店の程奉希上ます
京城三中井の新設電話 本局五二九番 (ゴフクと御承知ください)
京城本町 三中井呉服店
電話本局三七番 一二六番 五二九番

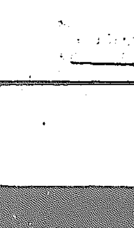
手品(てじな) 魔術 催眠術 氣合術

急告
一 純良飲料氷
右ハ來ル六月一日ヨリ左記之通リ發賣仕候ニ付此段廣告候也
倉渡壹噸 金拾貳圓也 但シ(京城府內卸賣ニ限ル)
大正十一年五月三十日
朝鮮天然氷株式會社
京城天然氷株式會社



獨逸カンヌイ
日本一手販賣店
網市商店 電話本局一九〇番





星印ソース
Genuine Worcestershire Sauce
和食における土佐ぶしほどの權威をもつて洋食國に喧傳せるウオセスターシャーソース……

（マツチ…）…ブレーゲ外佐一行は本日午後…機の發動プロペラーを破壞したが幸ひ…

…大正十一年三月…日より大正十二年二月迄の十一ケ月…

尾野新聞東軍司令官（昨夜入城した）

攝政御婚儀につき 伏見宮宮相に御物語

【東京發電】攝政宮殿下御婚儀問題に就き牧野宮相は二十九日伏見宮を訪ひ御寫眞より種々御物語があつた

明治天皇十周年祭 伏見桃山御陵にて執行

【東京發電】明治天皇崩御以來本年七月を以て恰も十年に相當するを以て伏見桃山御陵にては十周年祭執行することとなり攝政宮殿下北海道御旅行より御歸還直に桃山に御參拜遊ばさるゝことに決定したから宮內省にては目下之れが準備中である

二百種新聞の輿論 原首相を批評す 檢事の論告は當らず と今村辯護士熱火の辯を吐く

【東京發電】中岡艮一、橋本榮五郎に係る第二回公判は二十九日午前十一時より東京地方裁判所に於て下田裁判長池田檢事立會今村鈴木、鵜田の三辯護士出廷の下に開廷せられたが傍聽者は依然として二、三、共濟員の盛況にして本日は今村力三郎氏の辯論にて

『劈頭第一に中岡に對する刑の量定に就き十分研究する必要あり現行刑法の殺人に就ては懲役三年より死刑に至る迄を規定しあり然らば良一を何れの點より加刑すべきやに就き被告人の地位如何に依り加刑例ありとて其例を引き續いて原首相の暗殺當時の日本全國新聞二百數十種を取寄せ研究したりとて世間の輿論を引證して原首相を批評し星亨を暗殺せる伊庭に對する加刑及び當時例を參考として論じ尙檢事の論告を駁して其の價値なしと論じ兩被告事件及び原首相の秕政を述べ原首相の人格を批難し續いて原氏の施政に就き詳細に亘りて論じ社會人心をして徹か人格した定例を示めし全く原敬に人格がなかつたからだと論じ、後一時一般休憩後二時再會した

全鮮の華を鍾めて 鮮展は明日から 一日は名士三千名を招待 二日から一般に公開展覽

第一回朝鮮美術展覽會は既報の如く河合、岡田兩審査員の來城を俟ち二十八、九兩日間に大體の鑑査を濟ませ其後徹夜兼行で陳列を完了したので豫定の如く六月一日より開會すべく當日は特に招待日として朝野の紳士なる者約三千名を招待して觀覽に供し六月二日以後二十一日迄は一般に觀覽せしむることゝなつた觀覽料は大人二十錢、學生小供は半額、學生團體見學は五錢である但毎週月曜日を鑑賞日として觀覽料五十錢を徴し特に同好者に鑑賞の便を與ふることになつて居る

當落の岐路に立つて 渦卷く喜劇悲劇 親子三人枕を並べて死んだり 名がないので作品は著いたか

鮮展の鑑査は二十九日終了直に發表されたので樣々な悲喜劇が釀み出された、東洋畫の中には親子三人枕を並べて落選した者が有りそれかと思ふと矢張親子と云ふ人は父親を振り捨てて入選したのでお父さんの感慨が落ちけしないかと大分心配してゐる連中も居る洋畫では背水氏の門下生森澤耶山人の息子さんが『父の肖像』と題して出品した所其の父と共に落選の悲運に遭遇しスッカリ後援のお弟子さんに負けて終つた落選後援のお弟子さんが惱れてゐる隙で、も無かつたらしい、同じく朝鮮女流作家で有名な鄭蘭鍵女史は餘程入選に就て氣を痛めたと見えてもう入選發表が有つたのに三十日使を事務所に遣つて『作品は描きましたでせうか』と聞させてゐた、處が之は入選發表に鄭蘭鍵と出てゐた結果であると分つてオーヤオヤ、斯うした悲喜劇は外にもまだ澤山あつて何れも好事者を嬉ばしてゐる。

鮮展の下見會 新聞關係者

審査を終了した鮮展は三十日陳列を

京管局の當選者

二十九日發表の鮮展の鑑査には京管局社員中より左記數名の入選者を出した

▲洋畫 花田俊郎(現金)北浦太郎(經理)前田東水(機械)織部常生(同)松拔英一(同)以上五名

▲日本畫 伊藤すが(經理)石烈千葉(同)阪田民榮(調辯)以上三名

…も完了したので三十一日午前中には更に入選者の審査を爲し午後一時より各新聞雜誌社の係記者を招いて發表し同夕は朝鮮ホテルに於て茶菓を呈し意見を徴する由である

疑雲に包まれた 培材校生徒の生死 漢江人道橋上に遺留品 本人は癲癇病 時々發作した

三十日午前零時四十分頃漢江人道橋上に又復投身者らしき遺留品を通行人が發見漢江橋派出所から係官出張取調べた所現場に學生帽一、學生靴一足降り洋服上衣靴、萬年筆等が遺留され帽子の章に『培材』とあり上衣の襟に(二)の字があるので本人は貞洞培材學校の二年生だけは解つたので三十日早朝同校職員が龍山署に出頭し遺留品を受取り學校の上下調査中であるが死體らしき者を發見せず目下同鮮人の心中者らしき遺留品の主も皆目知れず或は一種の流行の樣になつた

右に就て貞洞の私立培材高等普通學校に聞き合はせると學校側でも早朝來取調べた結果漸く判明したが本人は金南、靈光郡より一昨年入校した者で今年の進級期には成績劣等な爲め原級に止められた同級き學校も休み勝ちの上本人は性來の癲癇持で時々發作的精神異狀を來す事があるといふので或は投身自殺した者ではないかと本人の行方捜査の一方投身場所附近の捜査に着手した

全鮮の有志を網羅した 滿蒙視察團出發す 團員は九時迄に南大門驛に 晴雨に拘はらず出發する

本社及毎日申報社主催の滿蒙視察團は愈々明一日午前十時五分出發の急行列車にて出發致します、團員は此日午前九時迄に必ず南大門驛一二等待合室へ御集合あらんことを願ひます、同待合室では本社及毎日申報の兩社員が午前八時から出張して皆さんに團員章(銅牌)をお渡し致します又地方から參加せらるゝ方で既に入城されてゐる方は今三十一日午後五時迄に會費の殘額をお届け願ひます(本社へ)若し同日の午後五時迄に入城することのできぬ方は出發當日南大門驛で團員章と引換へに御支拂下さるも結構です、安東、新義州、奉天、吉林等の各視察地では土地の有志が發起となつて最早一行歡迎のため夫々準備を急がれてゐるさうです

慘めな影を引いて 京城を落ちゆく歌劇團 龍山署に保護願ひが

來るもの來るもの何れも悲慘な目に會つて退城するオペラは京城には未だ早いとか遲いとか兎や角と評されてゐたが彼等の不始末、不定見は遂に京城に永住を許されるものではなかつた、處が此處に又復慘めな影を引いて京城を落ちて行く一座が出來た此の一座は四月末から黄金館に少女歌劇と銘打つて先頭まで興行して居つたが大部分不眞面目な連中の寄合である上に出し物には窮して來るし好い加減な處で黄金館からお斷りを喰つたので田舍廻りと決つてイザ出發となると茲に一つの破碇が持ち上つた、それは女優連がぞろくと片端から孕んで行き中には流產する者が出來たり、舞臺で腹を出すにも差し支へる者も出來たからである、處が此の一座の女優では淑子とく子、から子などが一座の花形で熱心で東京でも相當に役立つた連中であつた、それで彼等は又此一座に左樣な未練を持たなくなつたのである、其の矢先黄金館と手が切れ一座は朝鮮新聞の讀者慰安の爲め龍山開盛座に出演する事になつた所突然此三人が行方不明となつたのでマチジャー格の福島と云ふ男が色を失ひ百方捜索中變な間違ひから彼女等の在所が知れたで目下保護願ひを出すとか出さぬとか龍山署を煩はしてゐると云ふ

何故に 何を求めて生くる？ この境界に墜ち 俺は地獄に行くんだ

勞働宿泊所の勞働者の生活

『現在の生活狀態に陷つた原因』

和光教園經營の府內鍾路通勞働宿泊所に居る勞働者に關する心理的考察の一部は既に發表したが尙他の方面の調査を紹介することにしやう。彼等に關する研究の內で最も緊要なことは

である此の調査の中で最も多數を占めて居るのは『親が早世した爲め昏困に陷つた』といふのであるが其れは二十一名で殆んど半數に近い、夫は『妻及び子女が死んだ爲め昏困になつた』のが三名で『父親が道樂した爲め昏困になつた者及び自分が放浪生活した爲め昏困に陷つた者』が各二名宛ある其他は道樂がしたくて家に歸りたくない者、父母及び妻死亡の者、兄弟等が道樂の爲めの者、家族の病氣と商賣上の失敗が原因となつた者、負債がある上に妻に死なれた者元來共資産で生活困難の者、父母病死の者、日淸戰役の際避難して財を失つた者、自己が病氣の上商賣上の資本を失つた者、農業を厭ひ勉學の爲め入城した者、繼母の許に居たくない爲め家出した者等で其他の原因に就いては俄に同情に堪へないものがある、次に味氣ない彼等の生活に如何なる

『嗜好、趣味、娯樂』

があるか……？

酒を嗜む者は三十一名、酒だけが四名、煙草だけが十名其他は菓子餅等で趣味や娯樂に就ては『全くないと云ふ者』が十七名もある、實に荒み切つた彼等の境遇が推測される、酒と煙草が樂みだと云ふ者、飮む事が樂みだと云ふ者、菓子が樂みだと云ふ者等、其他は無邪氣なもので美服が欲しい者や芝居や活動寫眞を見たいと云ふ者等で中には他人に殴はせて聞くのが樂みだと云ふ者もあれば小說が好きだと云ふ者もある最も毛色の變つたのは念佛を唱へる事が好きだと云ふので每朝三十分間づゝ念佛を唱へ花や蠟燭や供物をして三昧に入つて居ると云ふ殊勝な者がある。扨お爺さん達の

『貯金は何うだ』

どうか……と調べて見ると成程、恒產なき者は恒心なしで貯金無一文の者が三十八名である、宵越の金は持たぬと云ふ江戶つ兒氣分でもあるまいが……經營者は種々苦心して貯金を獎勵して居るのであるが其の成績が一向思はしくない折角預金しても直ぐに引き出すと云ふ仕末である何分彼等の唯一の樂みは晝間勞働に疲れた體を引きずつて歸る途中酒屋に立ち寄つて一杯呑な數杯を引掛けて陶然と一時の快味を貪る所にあるといふのが大多數を占めて居るのだから仕方のない事でもある併し中には感心にも每月家鄕に送金する爲めに貯金の餘裕を有せぬと云ふのもある最高額九十圓が一人、二十圓が一人、十七圓が一人、五圓未滿が六人、十圓が一人、十三圓餘が一人、一圓未滿が一人といふ有樣である、次に信仰は如何なものだらう、

『無宗教が多い』

殆んど無宗教で信仰無宗教數が四十四名である而して佛教が三名天主教二名耶蘇教一名之れでは益々心が荒んで行く筈である。

『死後は如何なると思ひますか』

死後のことは分りませんと眼をパチクリやつて濟まし込んで居る者が三十一名『天に行く』と云ふのが五名其他十二名『極樂に行きます』と云ふ者が三曰く『生る間に苦勞するから死後は樂な所に行けると思ふ生前、死後共に苦勞するやうなことはあるまい』といふ元氣な者もあれば『我が精神は天から與へられたものであるから肉體は腐れても精神は天に歸るべき筈である』と云ふ理屈ぽいのもある中に只一人『禁慾が居る夫れは『地獄に行く』といふのであるが希望して行くのか如何かは知らぬ、よもや閻魔樣に强談判に行くのでもあるまいが……

綺絹に出ない鮮展插話【4】 更らに一波瀾を經て 彼の繪は入選の榮を得た 洋食屋の仲人で承知した と聞いて彼は直ぐ女を訪ねた

エム畫伯は『畜生ッ』とは思つたがその儘怨みを呑んで諦めるより外にはどうする術もなかつた、そして頻りに『殘念だく』を繰返して居ると甚を出入の洋食屋がきいて大に同情を寄せ『出來るか出來ぬか一つ私が行つて話をして見ましやう』といふ事になつた、暫らくすると又その洋食屋が來て『幸ひ私の仲間であの家と懇意なものがあつたのでその男を同道して行つて話をした所先方もよく話が判つたと見えて快く承諾して呉れました』との事、此畫伯の歡びは例へた肉の中から理想的のモデルを發見した時、彼女がわざくモデルと得た時、酒中倒々好畫材を發見して畫伯の家へ出張しやうと云つた時、その何れの場合にも増して大きいやうに見えた、それは僧お話がついた以上鮮展の搬入締切も早目前に迫つて居ることだし一刻も早く描き上げたい、畫伯は斯う思つたので又俥を驅つて女を迎へに行つた、けれども其の家の窓は相變らず冷く俥屋の目は例によつて白い、不思議に思つて今度は洋食屋に俥を乘り付け實は斯々だがどう云ふ譯だらうと訊して見ると洋食屋の主人は頭をかいて『其奴あ困つたことをして呉れましたね』と云ひながら『實は先方には話さへもしないのです、話をした所でどうせ人の血を吸ること』より知らぬ彼奴等に迚も分りつこはないと思つたので惡い事とは思ひましたが先生(畫家の事)にはお話をしたやうに見せかけ女は私が玉をつけて呼ぶ積りでした然し私の此の折角の心づくしも先生があの家へ行かれた爲めスッカリ滅茶々々になつて了ひました、本當に困つた事をして呉れましたね』と前後の經緯を細々と語つて呉れた、裏面に斯うした深い謀みがあらうとは知る由もない畫伯は今更の如く驚くと共に大いに洋食屋の氣に感じて『あゝ知らなんだく』と只管自分の輕率を悔ひたのであつた。

× × ×

二十九日發表された鮮展入選畫の中にはエム畫伯の作品もあつた、畫伯の出品の裏には云ふまでもない其の繪の裏には實に以上の如き興味ある插話が潜んで居るのである、畫伯があれから先どうして繪を完成したかは斯く申す記者も知らない（終り）

研究會放火 豫審決定

【東京發電】研究會放火事件の豫審は決定したるが彼等は初め去る三月坂山王臺演說會に際し警官の檢束に憤慨し警視廳、首相官邸の燒打を計畫したるも警戒嚴重にて意を果さず遂に研究會に放火するに至つたものである

依田曹長墜落す 生命危篤

【東京電報】航空局發表陸軍航空學校の依田工兵特務曹長は甲一型飛行機の發動機の空氣注入管取替の爲め神谷發動機職工を同乘試驗飛行中飛行場南方に於て發動機不能となり飛行場に歸らんとせる時錐揉みとなり高度五百米突より畑地に墜落し依田特務曹長は左の胸部を强打し右足を挫折し神谷職工は頭部を打共に重傷生命危篤である

依田曹長死す

【東京發電】墜落せる依田曹長は死亡した

依田曹長略歷【所澤發電】墜落慘死した依田曹長は山梨縣の出身で曾て靑島空中戰にも從軍し其の後佛國飛行教官の指導を受け高等飛行術を修めた人であるが去る大正八年三月臺灣蕃界飛行中墜落し同乘の安藤警部は蕃族の爲め首級をもぎ取られたが依田曹長は幸ひ無事に歸還したこともあつた

一等卒投身す 神經衰弱症

【元山特電】龍山第十九師團第三守備隊一等卒川崎藥市(三一)は神經衰弱に罹り內地へ送還の爲め二十九日師團用船にて歸還の途中海中に投身自殺を計らんとしたが船員が發見し漸く救助された

一日に離婚六件 女から男を訴へたのが一件

三十一日は京城地方法院で離婚問題が六件も審理される其の內の五件は例によつて女から所夫を訴へるのであるが內一件は毛色が異つて男から女を訴へたそれは鍾路四丁目の金英植(三一)と云ふ男が芳紀正に三十の妻李吉順を訴へたのである金の申立てによると吉順は其の姓名と反對に所夫に不從順で家政を顧みず常に外出して放蕩をなすので本訴に及ぶと怎に六件も離婚が審理されるのは稀有の事だ……さうだこれが離婚デーとでも云ふのだらう

『謝執務中妨害』 本を賣つて全國行脚の無言主義者

近頃紫色の獵服に純紅の乘馬ズボンを穿いた一靑年が只の一言も發せず『謝執務中の妨害』と書いた名刺を携へて各戶を訪問し一切物を言はず新生活と題する小冊子を賣り歩く靑年がある、この男は岡山縣の生れ福田源一といふ本年二十九歲と大連で印刷業を經營してゐたさうだが事業で餘暇があり常に金子の融通の途に出入し日本人の現在生活の未だ贅澤を脫せないことを列擧して改善の實行力なきを嘆じ自分も日本人に生れたからには默視するに忍びないと來る度毎に繰返すので家族は何事も口先ばかりでは駄目、先づ口を閉ぢて自ら範を垂れよと訓へたのに、彼は其月から使用人を解雇して職業を推め自ら信ずる所を小冊子とし昨年七月から一切言葉を使用せず、意志の鍛錬、生活の改善、衛生思想の實際を兼ね全國行脚を志し資金は到る處の警察署又は郵便局で認印を貰つて大連銀行に送り滿洲に日本靑年館を建設する目的だと言ふ、酒を飮まず、煙草を喫せず斯して能辯と無言の價値を比較研究するんだと言つてゐる、『眞實は勞働階級に宿りたいので すがまだ〳〵日本の勞働階級は駄目だと思ひます、何等の批判もなく理論もありません、日本人は世界の何國へ行つても恥しくない、衣食住にまで進化しなければ駄目だと思ひます、和服は現在の儘では決して良いものではありません、何とかしなければなりません、この行脚を終えて普通生活に立ち返る時は絕對に酒習を捨て人間らしい生活をします』と彼は微笑んだ

東京砲兵工廠怠業す

【東京發電】小石川砲兵工廠では二十九日職工四百名に對し强制的轉職を命じたるより他の職工は騷だしく憤激し遂に怠業狀態となつた

衛生活動寫眞 來月三日から

天然痘の續發と時候柄に鑑みて京城府衛生課では活動寫眞を應用して大々的宣傳に努むる筈で準備中であつたが愈來月三日の夜龍山七十八聯隊を振出しに府內各所で開催する筈になつて居るが府廳前や本社前等のスクェヤーやパゴダ公園等を利用して野天映寫も反つて効果があらうと夫れ〳〵準備中である

山口正憲氏斬らる

【東京發電】立憲勞働黨本部山口正憲氏は二十八日夜部下の爲め日本刀にて刃傷を負はされた

室蘭製鋼馘首

【室蘭發電】日本製鋼會社室蘭工場所では二十九日事務員百三十名の馘首を發表した右は過般の職工淘汰に伴ふ結果で次で役員の淘汰を行ふ樣である

安東縣の火事 前日に保險に付した

【安東縣特電】二十八日午前一時十五分安東縣支那町中富街雜貨商林鑒鵬方より出火日支各消防隊出動したが煉瓦造り平家三戶同二階建一棟を燒失し同五時四十分鎭火した損害約十萬圓火元は出火の前日三井に四萬五千圓の家財保險を附したりと謂ひ近來此の種の出火多きは大に注意すべき事であるといふ者がある

五十五歲の老人 醫師試驗に通過す

今回施行の第十五回朝鮮醫師試驗合格者中澤六藏氏(五十五)は數年前より每回醫師試驗に應じ百方努力せしも遺憾ながら合格の榮譽を得ざりしが今回は不撓不屈宿志を遂げ優秀なる成績を以て合格したりと

須磨子送らる 嬰兒を遺棄し

府內南米倉町二八一番地朝鮮銀行社宅第二五號田村龍太郎方居宅地下水溜から嬰兒の屍體を發見大騷ぎとなり嫌疑者として同方下女山口縣熊毛郡布施村生れ片山須磨子(二)を主嫌に引致の上嚴重取調べ中であつたが須磨子の自白に依り該嬰兒を分娩後世間態を恥ぢ遺棄したことが明瞭したので三十日一應取調べ終了と同時に身柄は一件書類と共に檢事局に送られた

自動電話の箱を壞して盜む

二十八日早朝鍾路一丁目角にある自動電話に何者か電話を掛けるが如く裝ふて這入り箱を破壞して金錢を竊取して居るのを發見した鍾路署に届出たので目下犯人嚴探中である

赤痢患者死亡

龍山管內に初發の疑似赤痢患者滿鐵社宅井上秀ナ(二)は鐵道病院に收容中二九日午後死亡した

産婆看護婦願書締切 京畿道で募集中の産婆看護婦願書は三十一日迄の締切であるから未提出の人は同日四時迄提出されたいと

運動界

公立商業の運動競技記録

京城公立商業學校では二十九日午後一時から校友會の發會式を擧げ會則を議決し役員選擧を終り運動場で各種競技會を開催した三年以下の生徒の記錄としては極めて優秀な成績である記錄は左の如くである

種目	氏名	學年	記錄
走高飛	安野朝行	(二年)	四尺六寸
	野田俊次	(三年)	四尺四寸
	山岸信三	(三年)	四尺三寸
走幅飛	池田 榮	(三年)	十五尺
	森 篤	(二年)	十三尺五寸
	安軸朝行	(二年)	十三尺四寸
	山岸信三	(三年)	十三尺四寸
棒高飛	野田俊次	(三年)	八尺五寸
	堀田 勇	(三年)	七尺八寸
	森 篤	(二年)	七尺五寸
六十碼(運動場狹きため短縮せり)	池田 榮	(三年)	七秒五分の三
	古賀元三郎	(二年)	七秒四分の四
	熊川源雄	(三年)	七秒五分の四
圓盤投	古賀元三郎	(二年)	五十二尺
	中川 數馬	(二年)	五十一尺七寸
	太田 一	(二年)	五十一尺七寸
	森 篤	(二年)	四十五尺六寸

一哩マラソン及び砲丸投等時間なきため延期せり

京城商業庭球戰

京城公立商業學校では廿九日午後庭球戰を開いた戰跡左の通り

三年	二年
○河村津田	安野吉澤
◎河村津田	中村佐田
○谷本・田	森 木田
◎谷本堀田	平山中川
○松井山名	古賀吉村

不戰組 藤原野田組 山中田原組

慶應…庭に於て同校生の紅白星球試合を擧行し其他四年對二年の對抗戰あり終つて佐々木校長より賞品の授與あり盛況裡に同六時四十分散會した

專賣局 松崎 政氏 二 三堀內 岡本　アカシヤ　田代 野口 一 三堀內 岡本◎

小形二枚折の昨年…宣傳用の印刷物五萬枚を全鮮に配布する事とせり

映寫幕

中央館 三十一日から新映畫實寫『ワンダリツプ郎園遊會』滑稽『すつかり勘定して』活劇『猿飛佐助』全五卷連續活劇『アトラス』四卷第二回實演連鎖劇新派悲劇『わかれ潮』五卷は松浦長悅脚家、長崎浦の龍夜、淺間社頭解決の三場を實演で行ふと

黄金館 三十日より特選映畫實寫『ユニバーサル週報』喜劇『間違ひの人』連續活劇『燃ゆる圓盤』四卷『戰ふ惡人』五卷グラデイスウオルトン嬢主演『颱風の果て』全五卷

大正館 三十一日より特別提供實寫『スタンセルホルン登山の實況』喜劇『夜會が終つてから』二卷正劇『陰の名優』五卷 大正怪傑『塚原卜傳』六卷、連續大冒險活劇『爆彈ジャック』四卷 文部省推薦松竹會社作『一太郎やあい』三卷でこの寫眞は國定教科書尋常讀本第七卷中にある孝子譚である。

大賣出し 夏物

柄ハ最新

品質ハ最良

價格ハ最低

大一巾一尺四円の錢　モス友仙がござゐます

の浴衣地は豐富でございます

公園の朝に街頭の夕に輕快な浴衣をお見受けする毎になりました浴衣と申しますとすぐますや呉服店を思ひ浮べて頂ける程毎年

まるやす呉服店
本町一丁目
電話本局四八三番

何を宣傳に來た？『無言主義』

忽十五版『新生活』小冊子

本書の內容生活改善と近來民心漸くに輕佻に傾かんとする折柄正義の爲めに今や本書は滿蒙在住の邦人に讀まざる人なしと云ふも過言ならず到る處にて高評を博しつゝあり戶別訪問を致しますから賤しき者と誤視せぬ樣宜敷お願申します定價二十錢(純益金は公共事業に投ず)

貧民代表者 無言主義

お求の際は、お手早く

登錄商標
十二指腸藥
アンキロ丸

斷食も下劑もいらぬ、三年五年の重病でも拭ふた樣に治る

これまで十二指腸病は普通の服藥では治らぬ樣に思はれていたが本劑は民レコードを破つた處の靈藥で心臟病にも効特あり御註文次第直に發送す

一廿日分 一圓 四十日分五圓 廿三日分三圓 代金引換廿八錢 前金送料四錢 海外五十錢

熊本縣隈府町 袋屋藥局 振替福岡七七九九

產婦人科 小兒科
文醫 遠山醫院
京城永樂町二丁目安番所前 長電話本局一六三四

パイン事務用ペン
金壹圓九拾五錢也

萬年筆の如く筆の高價なるペンにあらず不經濟なるペンにあらず安價で一ケ年の使用に耐ふ 十四金ペン付 ピジネスペン

京城太平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

商業登記

株式會社朝鮮殖産銀行第七回債券償還ノ件 … 大正拾壹年五月貳拾四日登記

京城地方法院開城支廳

家庭講談

小金井芦洲講演

第三十八席

扨御口兄弟は雲を掴むやうな尋ね物に困つたが十次『お兄様、日外飛騨高山在に居りました當時、大愚めが踏み込んで參り、既に手前を返り討にいた七ばかりの時に、階級の親切にて其場を遁れたやうなもの、彼が申すには兩劍の時に飛鏡念快をして居れば、蛇底返り討にするとまで階間を致ました、其の新非大愚は加州金澤に大分門人がございまする、國より加州の藩士ではありませんが城下に暫らく足を止め、道場を開き居りましたとの評ゆゑ、手前の考へでは金澤か能登の邊りへ參つてゐやうかと思ひますから、先づ外へ參ら士に加州金澤へ參りましたらば如何でございませうか、尤も手前も始め險右衛門を連れて上州を出立いたしてより、金澤へ一旦立寄りましたが此時には出會いたしません、今一應彼の地へ戻つたれば如何かと存じます』十三『夫は宜い處へ心附いた、然らばさう云ふ事にしやう』と仍て三人の者が方針を定めて、加州石川郡金澤へ越き、段々と尋ねました處が新井大愚始め師々の行方も知れず、夫から能登の方へ足を向けて七尾と云ふ處まで參りまする間別段お話もございません、能登の七尾は郷々宜い處ださうでございます是から城下へ這入らうと云ふ手前の並木の茶屋に足を休め、茶を呑んで三人が四方山の話をして居ると仕事の歸りと見えてシャン〳〵馬を引張つて來た馬士が茶屋の前へ足を止めて ○『爺さん好い天氣だね』喜『ヤア喜六どんだい今日は』喜『イヤ駄目だ、些とも仕事がなくつて』喜『併し喜六どんお前は能く稼ぐな』喜『稼がなけれやア駄目だ、家に女房はあるし子供はあるだから』喜『況然しちやア居られねえ』喜『旨く云ふぜ、何日も何時も宜い職業で悪といふ友達があるから宜い』喜『イヤ耕さんの前だが、少し存まずに居ると腰の鐵が催促をして始末に不可ねえ』喜『夫れに此の頭大府鍛冶に凝つてるさうだな』喜『イヤ凝ると云ふ程でもねえが乃公が名手どんが好きなんだから、何でも柄の者は剣術を使はなけりやア不可ねえと云ふので……』これを聞いて十三郎 十三『コレ〳〵喜十』喜『ハイ』十三『何か其方は剣術をやるか』喜『エ、旦那様お羨かしうございます、お武家様を掴まへて其んな事を云つては済みませんが此間からやつてるでがす、願くは出來ませんがマア一人前はやります』十三『ハア一人前やる、何流だな』喜『天流と申します』是を聞いて十次郎、扱けと思ひ、新井大愚は例の天流と云ふ流名でございますから、思はず前へ進み出でるを十三郎が目で知らして、懇な所を云つて、さうでない敵を交遊がすやうな事があつてはなりません 十三『馬士共の學んで居る武藝は天流と申すか』喜『ヘイ自顯流だの一刀流だのと云ふは、世間に澤山ございますが、天流と云ふのは私の先生様お一人しかないと云ふ事で』十三『ハア何と云ふお人だ』喜『元金澤にござつた人で新井大愚と仰しやいます』十三『ウム何處だな、其の道場は』喜『夫は何でございます、是から半道程西へ行きますと田代村と云ふのがあつて、田代村の村名を當字にして居る彌次右衛門と云ふ名主がございます、其の田代彌次右衛門と云ふ人が新井先生の兄さんの弟子で、其の縁で此方へ來なすつて、彌次右衛門が剣術が好きだもんだから、夫で大層力を入れて村内の者は一體剣術をやるやうな事になりましたが、私共の事だから別に剣術に用はねえけれども、やれと云ふもんだから毎日やつて居ります』是を聞いて樋口十三郎、十三『ウム馬士相當の禮を致すが、其の彌次右衛門と云ふ名主の處へ我々を案内をして呉れんか』喜『ハイどうせ私は村へ歸る者でございますから、案内をしても宜うございますが、お前さん方は武藝修行者かね』十三『如何にも、さう云ふ御仁があるなれば此方から參つて一本御稽古を受けたいと心得る』喜『アヽ行きなさるが宜い、けれども新井先生には叶ひますまいよ、大した腕前だから……』

海軍記念日と要港部祝賀會

【鎭海】鎭海要港部海軍記念祝賀會は同水交社内に於て二十七日午後一時三十分開催した來賓は馬山鎭海の陸海軍將校各官民有志等であつた先づ要港部山路司令官の挨拶あり次いで來賓總代司令官竹田將軍の來賓を代表しての答辭あり了つて酒宴に移つた餘興には筑前琵琶等ありて頗る盛會であつた三時十二分の散會

驪州在軍分會總會

【驪州】在郷軍人驪州分會は二十七日午後一時より驪州本邸で總會を開き會長の開會の辭、勅諭捧讀及會務報告ありて役員の選擧あり當選者は會長佐村氏、副會長駒田氏、監事鶴野氏、理事吉川氏、評議員笠木、川口、阿部氏等なり

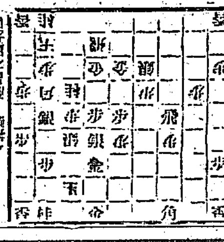
將棋新手合（五）

於東京日本橋區蠣殻町 實業毛登宅

平手 △七段 渡邊不光治（東京） ▲七段 花田長太郎（東京）

（同日前號指手迄の局面）

▲持駒 花田氏持歩



同手以來指手 △七六金 △同歩 △八四銀 △六六桂 △同角 △八四歩 △二三飛（ナル） △七七銀（ト） △同桂 △同歩 △同玉 △七六歩 △六七玉 △五七金 △七六玉 △七五歩 △七七玉 △六一歩 △五四歩 △同銀 △四六角 △八三玉（以下次號）

△（ト）七七銀打込みは一見過激に見ゆれども敵飛のなりに對し上と下との詰けを一時になすべく先手をとりたる良手なり

六月一日

（舊曆五月六日）▲木曜日 ▲庚子 ▲九紫 ▲昴宿 ▲南方 ▲佛滅 ▲危

▼九紫▲他人困らせのと趣り易く目的成り難し新事は悉く見合せて利
▼一白▲思ふたほど利益にならぬ日中庸を得て片寄らざれば概して無事
▼二黒▲至つて順調の日何事も意のまゝに運ぶ金錢上の問題は殊更に吉
▼三碧▲頭から撥ねつけらるゝ如き日偏み深く常樂を守りさへせば無難
▼四緑▲幸運にて愉快な日移轉旅行求職婚姻其他女子の獨立を臨つて妙
▼五黄▲何事にも逆らはざれば歸運の自然に廻つて來る日常の事上首尾
▼六白▲他人との間に不和生じ易き日継れ事の談判其他世話事一切禁物
▼七赤▲氣縱みを生じ大敵を醸す事あり旅みが肝腎遠方への旅行見合せ
▼八白▲思はず長上の引立を受けて出世の端緒を得る日何事に上も々吉

關釜連絡船

釜山發	午前 六、四〇分	午後 八、三〇分
卅一日	朝、景福丸	夕、新羅丸
一日	朝、對馬丸	夕、昌慶丸
二日	朝、壹岐丸	夕、新羅丸

處方を公開せる◎ミツワ家庭藥三十五方の内

酒及菓子類に因る胃の諸症を治癒すべき

小平理學博士監督製劑

◎ミツワ制酸錠

主要成分〔重炭酸ナトリウム、重質炭酸マグネシア、燐酸アムモニウムマグネシウム、硼砂末等〕 定價〔百錠入 金貳拾錢 三百錠入 金五拾錢〕

適應 酒の悪醉、酒の過飲、宿醉、菓子類の過食、愛煙、嘔吐、溜飲、食慾缺乏、食物停滯、消化不良、惡心、嘔吐、吐酒、胃酸過多症、急性胃加答兒等。

酒を飲過ぎたり、酒に悪醉したり、又宿醉したりして、惡心く嘔吐を催し、食慾が失せ食物を見るのも厭になり、頭が重く或は痛み、何となく心地悪しく、仕事も出來なくなるのは、酒の毒に胃を害つたのである。此の如き酒から起る急性胃加答兒、其の他胃酸過多症と稱へて、菓子や汁粉の如く甘い物の過食などで、胃が痞へて苦しく、嘈囃がして、食後一二時間經てから、胃が痛む等の症などには、處方公開のミツワ制酸錠を用ふるに限る。本劑は酒の毒を輕くし、惡心を治し、嘔吐を抑へ、胃痛を除き、炎症を鎭めるばかりでなく、併進んで消化を促し、胃腸の爽快を起させるもので、健胃健腸劑と謂ふべきものである。

▼如斯人は◎ミツワ制酸錠を用ふべし▲

一、酒に悪醉した人 一、酒を飲過ぎた人 一、宿醉した人
一、菓子など甘い物を食べ過ぎた人 一、嘈囃のする人
一、溜飲の起る人 一、食慾の無い人 一、噯氣のある人

右の他青年男女に必要のミツワ家庭藥四方

◎ミツワ鎭靜錠

主要成分〔サイミナール、ブローム加里、ブロームナトリウム、ブロームアムモニウム、纈草根〕 定價〔百錠入 金壹圓廿錢〕

適應 頭重、頭痛、頭内朦朧、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經性心悸亢進、精神興奮、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、癲癇等。

▼如斯人は◎ミツワ鎭靜錠を用ふべし▲

一、頭の重く痛む人 一、頭の朦朧する人 一、逆上せる人 一、眩暈する人 一、眠れぬ人
一、神經の過敏な人 一、心臓に病が無いのに心悸の亢ぶる人 一、感情の亢奮する人 一、些細の事を氣に懸る人
一、記憶の宜くない人 一、精神の鬱々する人 一、神經衰弱の人 一、ヒステリーの人 一、癲癇の人

◎ミツワ養毛液

主要成分〔サリチール酸、レゾルチン、精製カンフル、キナ丁幾、グリセリン、酒精〕 定價 一壜 金七拾錢

適應 脫毛、雲脂の過多、其の他毛髮の疾病。

▼如斯人は◎ミツワ養毛液を用ふべし▲

一、毛の脫落ちる人 一、雲脂の多く出る人
一、毛の發育を良くしたい人 一、毛の色艶を良くしたい人

◎ミツワ痤瘡膏

主要成分〔沈降硫黄、精製カンフル、レゾルチン、チゲノール〕 定價 一壺 金貳拾錢

適應 痤瘡、皮脂洞、酒渣鼻、毛瘡、白癬、疥癬、粃糠疹、雀卵斑等。

▼如斯人は◎ミツワ痤瘡膏を用ふべし▲

一、痤瘡の出來た人 一、皮脂の出過ぎる人
一、顔面の脂ぎる人 一、酒渣鼻の人
一、毛瘡の人 一、しらくもの出來た人
一、はたけの出來た人 一、疥癬の出來た人

◎ミツワ泥膏

主要成分〔亞鉛、タルクム、チゲノール、酸化〕 定價 一壺 金貳拾錢

適應 爽皮剝脫、擦過傷、火傷、凍瘡、皮膚龜裂、皮膚糜爛、皮膚潰瘍、毛瘡、漆瘡、蕁麻疹、濕疹等。

▼如斯人は◎ミツワ泥膏を用ふべし▲

一、爽皮剝脫した人 一、擦過傷した人 一、火傷して水泡の出來た人 一、火傷して皮膚の爛れた人 一、火傷して皮膚の痛む人
一、凍傷の出來た人 一、皮膚龜裂のきれた人 一、凍裂の出來た人 一、腫物などで皮膚の爛れた人
一、毛瘡の人 一、漆にかぶれた人 一、蕁麻疹の出來た人 一、胎毒の發した人 一、濕疹の出來た人

◈以上の他◎ミツワ家庭藥には左の種類あり◈

◎健胃錠 ◎消化錠 ◎緩下錠 ◎止瀉錠 ◎解毒錠 ◎驅蟲錠
◎清涼劑 ◎解熱錠 ◎袪痰錠 ◎鎭咳錠 ◎結核錠 ◎人參錠
◎強力人參錠 ◎婦人湯藥 ◎婦人坐藥 ◎治淋藥 ◎麻疾洗滌液 ◎點眼液
◎鼻病液 ◎齒痛液 ◎含嗽錠 ◎頭痛錠 ◎鎭痛液 ◎驅蟲液
◎腋臭藥 ◎撥毛藥 ◎制痒膏 ◎頑癬膏 ◎凍瘡藥 ◎痔坐藥

小山田醫學士編 家庭治療法（全一冊）郵券にて金五拾錢を拂込あれば逡呈す。

全國到る處の藥舗其他にて取次販賣す。最寄に取次店なきときは本舗より直送す。（郵券代用不苦）。取次販賣簡易。副業として確實適當。發賣品目錄及取次販賣規定申込次第送呈。

振替貯金口座東京七一〇 ミツワ石鹸發賣元 東京橋町 丸見屋商店

ミツワ家庭藥は三越呉服店藥品部を初め各大雜貨店藥品部にても販賣致居候

（305）

墓地改葬廣告

當院管理墓地今般鐵道省用地ニ收用相成候ニ付東京府下大井町森谷ヘ移轉仕候然ル處墓碑所有者ニテ住所不明ノ方有之候ニ付御心當リノ方ハ來ル六月廿五日迄ニ御申出相成度同日迄ニ何等ノ御申出無之向ハ無縁ト認メ當方ニ於テ適宜取計ヒ可申候條此段廣告候也

東京市下谷區豐住町 養玉院

京城本町貳丁目 富田醫療器械舖 電話一八一九番 振替京城四〇三番

資金五拾圓で誰れにも出來る堅實有利な呉服屋

製造から直接需要者へと云ふ趣旨の下に本邦一の機元の特店は全國各市町村に一軒宛つ機元特設呉服特約店を設置す 希望者は郵券五錢封入至急申込め 規定書送る

栃木縣足利市 坂本商店特約部

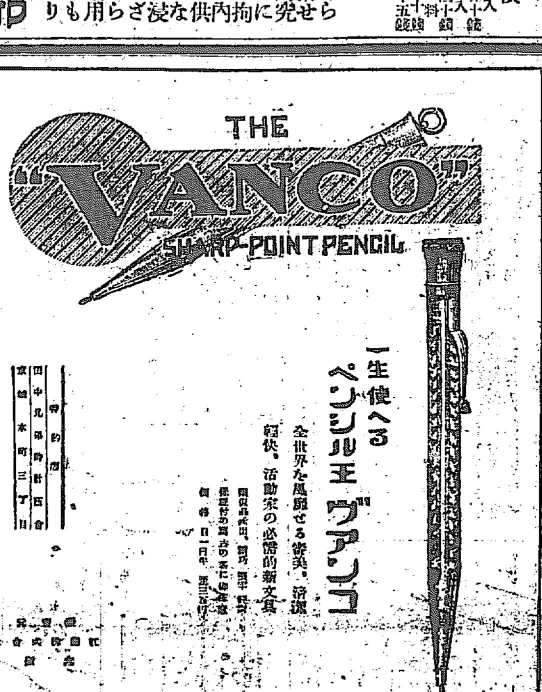
朝鮮總督府專賣局製 紅蔘

定價 三十七包入 金一圓八十錢 七十五包入 金三圓四十錢 送料 鮮內三十錢 內地四十五錢

用法 一包を湯呑茶碗に入れ沸湯を注入し能く攪拌して一日三回宛服用すべし砂糖或は牛乳を加へ用ゆるも差支へなし

近世高麗紅蔘は政府の專賣品として專ら支那に輸出し內地は勿論朝鮮にも供給せず然るに近來頻りに專門學者の注目研究する所となり其効驗噴々傳唱せらるゝに至るや內鮮人の渇望する者頗る多きに拘らず之を得るに途なきに總督府に於て內鮮の需要に限り特に高麗紅蔘を廉價に供給して人蔘特有の天惠を頒たれる事となれり古來よりの浸出法や其他の方法にて浸出しても時間や手數を費やす事尠からざるに殊に執務旅行等の場合に不便なるにより今度弊部に於て紅蔘を粉末に製し輕便に服用し得るよう特約販賣することゝせり

合資會社 京日代理部 京城太平通 振替京城三〇〇番 電話本局長 六〇九番 二七四八番



一生使へる ペンシル王 ヴァンコ

全世界を風靡せる密美、輕潔、輕快、活動家の必需的新文具

特約店 田中丸時計店 京城本町三丁目

赤玉ポートワイン

赤玉葡萄酒は健胃、補血、興奮、強壯の効最も顯著にして一般治療上缺くべからざる滋養料として今や各藥局に採用せられ益々その偉効を醫界に認識されつゝあり 加ふるにその特別醸造法に於て自然の美味を幾年も豊潤に保有せしめ得たる特長あるを以て 婦人小兒の口にも適し 老衰を防ぎ精力を增進する效に至ては 斷じて他の追從を許さず

美味の泉

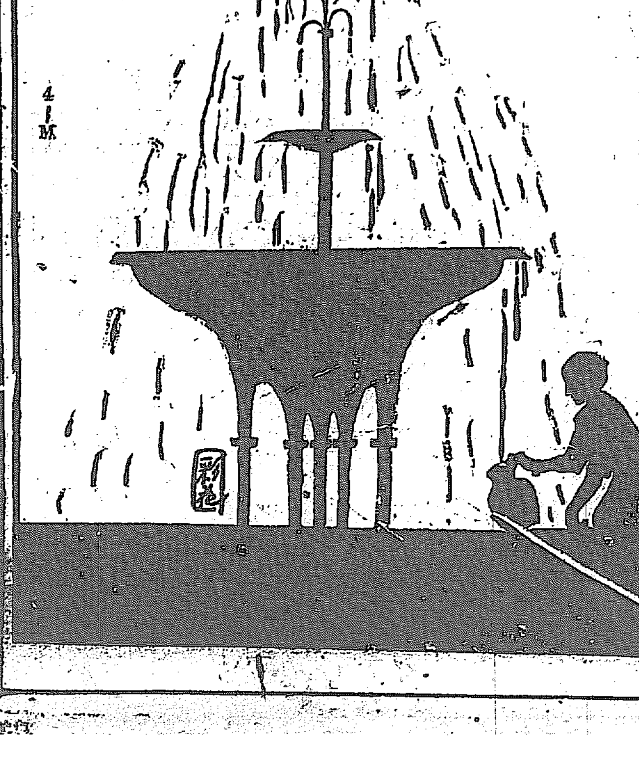
どこからあんな美味しい味が出るのでせうとほんとに不思議がられてゐます、何に入れても美味しいお料理が出來る、ほんとにこれこそ美味の泉でございます、

文化的調味料

味の素

原料は小麦の蛋白質

日英米佛專賣特許 池田理學博士發明



4-1 M

平和博と鮮米宣傳

朝鮮殖産銀行頭取 有賀光豊氏談

朝鮮米の價値を内地方面に知らしめて其の販路を擴張することは朝鮮經濟上の一大問題であるのみならず又内地の食糧問題に解決を與ふる次第であるから朝鮮の當業者が此目的に向つて不斷の努力を既往して居るのは固より其所である此朝鮮米宣傳に就き近く

二つの好機會 を捕へたことは朝鮮に取りて非常の仕合であると云はねばならぬ第一は四月上旬京城に於て開かれた大日本米穀大會と之を機會に同じく京城にて開催せられたる朝鮮農會主催の全鮮穀物共進會であつて内地各府縣より數百名の米穀關係者が來會せられたことであるから内地の米穀取扱者側に對しては充分朝鮮米の紹介も出來て今後の取引上多大の効果あるべきは疑ひなき所である第二は現に帝都の中心に於て開催中の平和博覽會であつて之は需要者側に向つて直に朝鮮米の宣傳をなすに絶好の機會である左れば此機會を逸せず大に朝鮮米宣傳の目的を達せんが爲朝鮮米穀商組合聯合會が主となり平博朝鮮協贊會と相提携して或は見本の出品に或は朝鮮食堂の經營に或は現品の賣出に

最善の努力を 致し居る次第である余は啻に右協贊會副會長及聯合會々頭として此事業に參與することゝなりしが複雜なる事柄を可成り敏速に且つ簡便に取扱はねばならぬ點であるが故に實際事に當りて商議り、運送、相場の引合等細目の點に於て多少の行違ひを生じ支障を來たし關係者の不識を買ひたる所なきにあらざるも此點に就ては特に各方面の寬恕を願ふ次第である然し前記の支障は大體に於て些々たる事柄にして鮮米宣傳の大目的を達する行程は之が爲に大なる支障を來したる次第にもあらざるが故に今後は更に

一致共同を固 くし慎重な研究討議を遂げ所期の目的に向つて邁進の一途を辿るべきである幸ひに目下東上中の聯合會理事長天日氏は專ら斡旋の勞を執られ渋澤部長會長及田中商工課長等と親しく協議を遂げ又聯合會宣傳の方法をも熟議せる釜山米穀組合の阪田氏とも種々實際を重ね萬遺算なきを期し居る次第にて其効果空しからず或は直接賣買の取引を爲し或は東京公設市場と協約し之を通じて廣く鮮米を販賣する等出來得る限りの活動を爲し各方面より續々注文の應接に忙殺せられ居る狀況にて今回の平和博を機會としたる朝鮮米宣傳の大目的は

實際上好成績 を以て達せられつゝあるは誠に喜ばしき次第なり終に朝鮮米の宣傳は單に今回の如き機會に於て一時的に行ふを以て足るものにあらず一度得たる聯絡は苟くも之を斷つことなく益々之を密接ならしむるのみならず之を根據として廣く各方面に及ぼし其の効果を徹底せしむる様當業者の努力を祈る次第である

期米界立直らん

京城證券信託社長 天日常次郎氏談

内地に旅行中なりし天日京信社長は二十九日夜歸任せしが内地財界の近況に就て語つて曰く

内地財界は未だ立直り相にもないが此の上惡化もせないであらう、鬱憤なる財界の不況が二年も繼續するだらうと觀測するものである。株式綿絲期米の好轉せし昨今でも大勢は餘り宜しからず一般に警戒氣分が漲つてゐる。資金も無い譯ではないが

其の使途に困 つて居る。只一般に手控への爲め有利なる事業がなく事業界は沈衰の極に達して居る。何と云つても物價が下らぬと何事にも手を染難い狀態なるが此の物價引下を政府が如何なる手段を以てするか、急激なる緩和策を施せば又も救濟を要し通貨の膨脹を來して何の効もなく之には一般に聲援して居る。只一般が控へ目勝ちとなりしは顯著なる事實にして株式界も餘り活氣がない石井の擔込み

五十萬石の米 は追々片付き從來舌米見れなりしも次第に消化されつゝあるを以て之が一掃さるゝも近き將來の事なるべく其の上は期米界も大に立直るであらう外米は大阪神戸など二十六日の搬下にて殆ど中にて終了せしが之が相場低廉なりと思惑買の爲めに行掛良好なる譯にて品質も餘程良いのがあり一部は食料に供するならん或は製菓原料としての消化が主なるやうに觀測される。

實行委員氏名 宮林泰市（綿糸布商代表）佐藤米次郎（金物商）加藤淸太郎（雜貨）辻本嘉三郎（食料品）戸田春藏（農具肥料）土佐紙會社（紙類）淺海助次郎（化粧品雜貨商）

鮮銀券週報

二十一日より二十七日に至る週間鮮銀券發行平均高は九千五百八十二萬五百五十三圓にして此內制限外發行九百四萬四千四百十九圓正貨準備發行平均高三千六百七十七萬六千百三十四圓保證準備發行平均高五千九百四萬四千四百十九圓週末發行高九千五百七十六萬四千二百九十八圓なり

安信無配當說

安東證券信託會社第一回決算は五月末日を以て締切り總會は六月二十六日頃開催の豫定なるが今期は營業許可遲延等の爲め豫期の利益を揚ぐる事能はず幾分の配當可能なるも堅實なる營業を圖る意味に於て結局無配當となすべしとの說有力なるが如し

商品市況（三十日）

綿絲布（强含み） 米綿四十錢安鐵塊四分の一高と材料は區々なるも引續き三品の强調を入れ市中除雨の醸客足遠きも相場依然として强含み商狀なり其の成行相場左の如し

粗布三エー二百七十二圓九龍二百六十六圓大エー二百五十六圓金剛山二百二十八圓金閣二百十六圓双鹿二百七十八圓細布飛犬十三圓二十錢世樂島十二圓四十錢晒金巾金鼎十三圓六十錢進軍十四圓二十五錢綿綿扇面二百四十八圓双女二百二十八圓晒木綿閥竹一圓三錢

セメント（强硬） 昨今品薄の姿にて相場も一流處は八圓二三十錢唱へ氣配は頗る强硬を呈しゐるが生產地筋は既約品の納入に追はれたる上に淺野門司工場も其復舊を急ぎつゝありて八九月頃には竣功を見るべし加へて下半期は每年需要增加の傾向を呈するを以て四圓の不況と無關心に昂騰は呈せざるも前途低落は望まれざる模樣なり

鮮魚（一高一低） 入荷相當なる上に上等品豐富に入氣降雨のため活氣立たず從つて相場も下押氣分を呈した結果上物一般に七八圓より二三圓方の下落を見たるが反對に下等品は品薄を唱へさるよりあじなどは倍以上の高値を見たり其の成行き相場左の如し

仁川鯛三十八圓鰯三十五圓小鯛四十二圓平す十八圓平目十圓鰹二十二圓水烏賊五十五圓も海老三十八圓小海老二十圓いせ海老三十圓すゝき二十二圓にべ十二圓鰯十八圓さより十八圓鯛八圓あじ十二圓赤えい五圓

卅日前場は鐘塊四分の一安、米棉現物不變先物四十錢安と海外材料不振に拘らず定期綿絲は豫外手堅く五月限納會六月限寄付き二百四十五圓十錢高七月限三圓八十錢高八月限三圓高九月限三圓高先物一圓六十錢高大阪四十五圓九十錢と昨後場より二と綿會高を演ぜり

コール益々昂騰

月末資金移動漸增に依りコールは逐日強調を呈し翌日物大阪二厘東京七厘の急騰を見たるが二十九日大阪二錢五厘と更に五厘方昂騰せり

在米調査

【東京電報】農商務省發表＝大正十一年五月一日現在內地米の見込數量は三千二百二十八万四千八百石なり因に大正十年同期現在は三千四百十四萬石なりし

商工聯合會總會

京城商工組合會にては汽船運賃問題に就き二十九日午後三時より長谷川町商業會議所に臨時總會を開催したるが出席者は釘本會長外十六名種々協議の結果運賃には同會の對照は朝鮮郵船會社のみに對し交渉を試むる筈なりしも大阪商船仁川出帆の貨物取扱會社は外に大阪商船會社もあり而して食料品、綿絲布、鐵材、肥料等は最も運賃の緊縮なる所を爭ふものなれば相當慎重なる態度を以て之に臨む必要ありとなし各商品界を代表したる左記七名の實行委員を擧げ一切の交渉方を之に委す事となし同六時散會せるが實行委員は更に來る六月二日午後三時より會議所に集合し具體的作戰計畫を定むる事となれり

定期綿絲手堅し

【大阪電報】亞米利加棉花作付增しと買氣衰退にも拘らず減收を見越され目先は月を越すまで保合の氣配なりしが

内地金利	東京	大阪（廿九日）
コール 翌日物	二、〇〇	二五、〇〇
無條件	一〇、〇〇	………
月越	二六、〇〇	二六、〇〇
六十日物	………	………
普通割引歩合	二七、〇〇	二五、〇〇

朝鮮銀行券（廿九日）	
發行高	九四、六九五、六六九
正貨準備	三六、六四五、三五一
限外發行	八、〇五〇、三一七

日銀帳況（廿七日）	
發行高	一、一〇七、三六二
正貨準備	一、一〇七、三六二
保證準備高	………
貸出高	一二九、一五〇

取消 大正十一年五月廿八日貴紙經濟欄に『日華木材臨時總會』と題し廿七日午後二時當社樓上に於て株主總會を開催し云々との記事有之候得共事實無根に付御取消相成度此段申入候也尤も當社第二回定時株主總會は廿八日午後京城食堂に於て開催無事原案通り承認相成候爲念　日華木材株式會社　京城日報社御中

株式

現株市場出來値（三十日）

銘柄		前場 今週物	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	寄	一〇〇・〇〇	………	一〇〇・〇〇	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
鮮銀	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
殖銀	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
商銀	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
漢銀	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
韓銀	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
東拓	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
鮮土	寄	………	………	………	………
朝紡	寄	一九・四〇	………	一九・四〇	………
滿毛	寄	八・〇〇	………	八・〇〇	………
京電	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
電興	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
朝紙	寄	………	………	………	………
朝郵	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
殖鐵	寄	………	………	………	………
中鐵	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
滿鐵	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
東亞	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
同新	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
京信	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
乙の部 安取	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
奉取	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
大新	寄	一〇一・〇〇	………	一〇一・〇〇	………
上取	寄	[illegible]	………	[illegible]	………
新東	寄	一〇一・〇〇	………	一〇一・〇〇	………

短期取引 （銘柄 寄付 大引 高値 安値）

銘柄	前	後
京取	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
滿毛	………	………
朝紡	………	………
亞新	………	………
拓新	………	………
安取	[illegible]	[illegible]

出來高

甲部	二千九百七十枚
果計	五十三萬一千七百二十枚
乙部	一千六百枚
果計	十七萬九千九百五枚
短期	二千三十枚
果計	八十七萬七千三百四十枚

短期日歩	
京取	………
仁取	・七〇
同新	・三五
大新	・七〇
滿毛	逆・一〇
朝紡	一〇
亞新	五
拓新	………
安取	三〇

東京現株

銘柄	三十日前場	廿九日後場
鮮銀	九八、〇〇	九五、〇〇
同新	二六、五〇	二六、三〇
東拓	五三、〇〇	五二、八〇
同新	二五、六〇	二五、五〇

大阪株式

銘柄	三十日前場寄付	廿九日後場大引
鐘紡	一〇八、〇〇	一〇八、〇〇
同新	一五八、〇〇	一四八、三〇
東新	一二、九〇	一九、八〇
株新	二三、三〇	二四、〇〇
同新	一二五、三〇	一二二、〇〇
郵取	一〇〇、五〇	九八、〇〇
南毛	六七、九〇	六七、七〇
朝紡	一九、七〇	一九、五〇

銘柄	三十日前場寄付	廿九日後場大引
大株	………	一二八、七〇
同新	………	一〇〇、一〇
郵船	………	一〇〇、六〇
同新	前場休會	三九、五〇
商船	………	四九、三〇
同新	………	………
鐘紡	………	三〇〇、〇〇
同新	………	二八六、〇〇
東紡	………	一二三、八〇

大阪延取引

銘柄	寄付	大引
○三十日前場		
大新	一〇二、四〇	一〇一、四〇
鐘新	三〇三、四〇	三〇〇、〇〇
天坂	………	………
○三十日後場		
大新	………	………
鐘新	………	………
天坂	………	………

安東株式

	寄付	大引
○廿九日後場 安取先物	二八、三〇	二八、七五
○三十日前場 安取先物	二八、六〇	二九、三〇

前場は硬り 京取稍戻す

前場は昨閑散裡に終つた機先今朝大阪の高移りに稍引戻しの模樣を呈し場面は依然閑散乍ら多少の買氣萌したる模樣にて京取今週一圓四十錢高來週一圓高京信來週十錢高同新同事安取今來週共同事短期十錢高同新仁取今週回事短期十錢高奉信今週三十錢高來週同事大新今週五十錢高短期前引値より一圓十錢高朝紡六十錢高其他諸株概して保合裡に大引せり

京取引戻す

京取は昨後場稍引戻し模樣に引けたる機先今朝大阪の高報を入れて稍人氣立今週七十四圓八十錢と四十錢高に寄り九十錢と上げ二の廻り更に五十錢より十錢刻みに八十錢と上げ三の廻り四十錢ドタと進み三十錢六圓ドタと昂騰五圓八十錢と戾して引一圓四十錢高來週七十五圓五十錢と九十錢高に寄り二十錢と落し跡十錢刻みに七十錢迄進み二の廻り七八十錢あり三の廻り六圓ドタと吹き五圓九十錢と落し八十錢より七十錢と落し六十錢と引一圓高

安取保合

安取は依然伸力鈍く短期二十八圓ドタと二十錢高に寄り七圓九十錢と落し八圓と上げ七圓九十錢より七十錢を歩み八十錢と保合に引

奉信小戻す

奉信今週十五圓と四十錢高に寄り二十錢と上げ四圓九十錢と押し五圓ドタと昂げ四圓八十錢と引三十錢高來週十五圓二十錢と同事に引

京信保合

京取週今週六十三圓三十錢と寄り來週六十三圓三十錢と十錢高に寄り本同新今週二十一圓五十錢と同事に寄り來週二十一圓五十錢と十錢安に寄 六十錢と同事に引

京取の瘤を取れ

過般の昂騰以來連日同じやうな氣味の相場を續け押目には買氣があつても大阪の高移りには鈍感で一氣に買つて出るやうな元氣がないが其間徐々に値を進める所に特異の商狀が認められる今朝も大阪の高移りに多少人氣を刺戟し京取の如きは今週一圓四十錢方來週一圓方の昂騰を示したが過般の昂騰に比すれば未だ保合圏內を脫したとは云へない限りに過般京取の昂騰が伸過ぎであり近頃の相場が兎角不誘明であつても大勢の上から云へば現下の相場は當過の反動から漸く新規買に移らうと云ふ所であるから此邊に一進一退しても其間に自然反撥力は貯へらるゝものと見られて居る乍然京取株に面白からぬ前のちよい〳〵見へるのは如何なる譯か一般の人氣は大新の百圓大關門突破と共に京取の大反撥を目標とされて居た様であるが反つて低落歩調に轉じたるが如き觀に何物か伸力を抑壓する事情の存在する事を思はしめる內地株式界が今後徐々に進展しても過般の相場の足取りから見て此の事情即ち此の瘤が有るとすれば京取市場が大阪の相場に順應すると事は至難であらう故に京取市場に於て此の相場を實現しやうとするなら之を除去しなければ大勢に順應するとは買共に先づ此の瘤を除去する事が先決問題で此の瘤を除去しなければ進むにしても退くにしても或程度迄殊に買にうとする者には既に此の瘤が當面の瘤となつて居る傾向が見へる故に京取株としては一般が如何に恢復し好況を呈しても舊の相場を現はす事は此瘤を除去しない限り當分至難であらうと云はれて居る

後場沈滯

京取は前場引返し模樣に引けたる機先大阪の小甘き移に氣乘薄く今週十五圓四十錢と四十錢安に寄り五十錢と返し二の廻り三十錢と押し三の廻り二十錢と落し十錢と引七十錢安來週七十五圓八十錢と二十錢高に寄り跡十錢刻みに五十錢迄落し二の廻り五十錢三の廻り五十錢より六十錢と同事に引仁取は依然氣乘薄く今週四十圓と同事に寄り來週同事同新は今週六十二圓と五十錢安に寄一本來週出來ず短期六十二圓ドタと十錢安に寄り十錢と同事に引京信稍は今來週共出來ず同新は今週二十一圓十錢と四十錢安に寄り四十錢ドタと引九十錢安來週二十一圓十錢と同事に寄り五十錢と押し四十錢と同事に引安取は安東地場の高報に短期二十八圓五十錢と七十錢高に寄り共昂二十錢迄昂げ五十錢押として引七十錢高と引二十錢安

仁川米豆取引所仲買人 ㊂太中仲買店 仁川海岸町三丁目 電話長四〇四番 二二〇番 電略（ア）又ハカ（ネタ）

仁川米豆取引所仲買人 高田常雄商店 仁川海岸三丁目一番地 電話長一〇一番 一九番 電信略號付營業案內送呈 ハジメ

主要株歩値段

前場歩み					
京取今週	(一の廻り)七四、八〇	(二の廻り)五、〇〇	(三の廻り)四〇	六〇	
來週	(一の廻り)七五、五〇	八〇	九〇	六〇	七〇
	三〇	四〇	五〇	六〇	五〇
	(二の廻り)七〇	八〇	九〇	(三)	
	(二の廻り)六、〇〇	五、九〇	八〇		
安取短期	二八、〇〇	七、九〇	八〇	七〇	九〇

仁川米豆取引所仲買人 ㊆北島仲買店 電話長三二〇番 本店電話二七二番

後場歩み					
京取今週(一の廻り)	七五、四〇	五〇	(二の廻り)三〇	(三の廻り)二〇	七
一〇來週(一の廻り)	七五、八〇	六〇	五〇	(二の廻り)五〇	(三)
の廻り	五〇	六〇			
安取短期	二八、五〇	六〇	五〇	二〇	三〇

米況（三十日）

仁川期米 前場引際高

昨後場地の不勢に三十圓十八錢と崩れかけしも買方一派の防戰と引際阪地の止め高に再び二十錢臺に跳返して居る大阪は二十一錢と手堅く打止めし今朝の大阪先き強含み模樣に依り三十四錢安に二十九圓八十錢の出來ず先㊉の買進みあり四十錢中し㊉の買物に消化されて三十圓〇九錢と十五丁安に寄付きたり

▲第一節　大阪二節七十三錢と前日なる二十九圓三十錢中二十ヶ圓九十錢先〇九錢より十一錢と値が三文戻しを入れたるより突込み賣の手口の間を持合ひ十錢と引

▲第二節　當中出來ず先大阪跡八十錢の移りに十二錢三錢と焦付きに引

▲第三節　當中出來ず先十二錢の寄止めに引

▲第四節　當中出來ず大阪八十五錢の高移りに先十四錢五錢と持合いに引

▲第五節　當二十九圓五十錢中九十錢先十四錢と五錢と手堅く大引

▲第六節　當三十五錢と三期を通じ㊄の買いに始めたる折柄大阪止め三十五四十錢の高移りを入れ忽ち買氣を刺戟して三十五錢と蹴上げ四錢五錢と手堅く大引せり

疑問の賣玉

買方主力の㊄に相對時して六七千石の賣玉を圍持せる㊉の玉に就いては種々なる憶測行はれ中には京城方面の主力筋とも云ひ亦一面には地場某正米筋とも傳へられて居るが店主島居氏の談に依ると賣米を有する手口で渡米を敢行する筈になつて居る丈にて共何人なるかは語らないが相當腰入れ深き手口なる事丈は事實らしい

仁川米豆取引所仲買人 ㊉仲買店 電話六一五番 六三三番

差引殘高

	賣方	買方
㊄	三〇〇	六〇〇
㊁	六〇〇	七〇〇
㊂	三六〇〇	二五〇〇
㊦	九〇〇	一九〇〇
カ	一〇〇〇	一〇〇〇
㊈	一〇〇〇	二〇〇〇
谷	三〇〇〇	二〇〇〇
㊃	一〇〇〇	四〇〇〇
春	七〇〇〇	二〇〇〇
絹	一〇〇〇	七〇〇〇
鶴	五一〇〇	三〇〇〇
谷	五〇〇〇	一〇〇〇
九二		七〇〇〇

後場變らず

○三十日前場		○三十日後場
寄付	三一、〇九	三一、三五
止値	三一、三四	三一、三〇
高値	三一、三五	三一、二五
安値	三一、〇九	三一、二四

▲後場公定値

	前場公定値	後場公定値
一節	三一、〇九	三一、二五
二節	三一、一二	三一、二五
三節	三一、一三	三一、二九
四節	三一、一二	三一、二六
五節	三一、一五	三一、二五
六節	三一、二九	三一、二五

	當限	中限	先限
取組高	一千七百石	一萬七千三百石	二萬四千二百石
出來高		六萬四千九百石	
累計		六五三九〇〇石	

▲第一節　常中出來ず先三十一圓三十五錢

▲第二節　常中出來ず中三十圓丁度先二十九錢より三十錢と煽り廿六錢引

▲第三節　常中出來ず先二十四錢より七錢あり六錢引

▲第四節　先二十六錢より五錢引

▲第五節　先二十五錢より四錢と押し五錢引

當限受渡し

今前場納會した當五月限の受渡しは石數千七百石値二十九圓四十錢で受渡しの內譯は左の廻りである

渡方　カ五〇〇石▲㊇二〇〇石▲㊂三〇〇石▲九二七〇〇石
受方　㊄九〇〇石▲㊉一〇〇石▲㊆七〇〇石

當限落後の强弱

當限落後に對する强氣の說は昨今古米の賣行き良好に伴ふて相場の自發力が加重して來たと云ふ目下の情態では產地正米の弛まぬ折悪米兇れの當限に先取らせしも古米の處分物も一巡して殘りか落ちたら自然正米に定期が順當せするのが正當だとせられて居る亦强氣は軟材料の云ひ盡された機先留易の出超とか古米の賣行き良好產地出廻りなど云ふ好機を與へられたから相場の上には節から五六十錢の反撥を示すが如きは只株や綿絲高に伴ふ一時的の現象で北處には疑ひもなく大勢歉の證據が物語られて居る抗入氣さへ落付けば安くなるべき運命を持つて居る米だと云ふ果して何れの見解が的中するかは別問題として一般が向小相場と見て慌てる向の少ない丈或は平凡な納會に終るやも知れない

聞餘界米

近頃の如く材料なし仕手なしと云ふ平凡なる往來相場では取玉も持合ふて來ると大底な玉持ちにが相場も或は文句のつけやうもない規則的に玉の持合いには双方共は其處を見込んで嫌氣も是れを演じたちに餘程自信があると見へ抑々術俊の玉を張る向が多い其の辛棒强い處にも拘はらず▲昨今の持合いに雙方共り亦投げ退いたりしたがるにも拘はらず同じ持合いでも此の儘には濟まされぬ妙味が未だ拋棄されて居る點で▲買方は貿易の出超とかカ吉米の賣行き良好などにスツカリ惚込み氣の早い連中はモウ弗々四十圓說を漏らして居る然し爲替の手加減や綿糸の輸入減などで消極的に少し許りの出超となつた貿易界の前途が樂觀出來るか否やは疑はしい▲結局は一般の勞銀を引下げる處まで行かねば國の回復は望まれないやうにもある其度へ足らぬもの信じ切つて居た本年の供給抜けと見込みの多少の事もなくなつた殘存米調査の結果ではそウ取り越し苦勞をする程の事もなくなつたのみか事によれば四百萬石の持越米を產出しさうなとすると▲金利會賤の入らぬのを好い事にして買持んで居る中殘以上の末路も怪しいものである

在米益々減少

仁川穀物協會が調査せる仁川六銀行の在米數は三等合格玄米八千石地摺玄米九千百五十二石にて前週に比し四千九百六十四石を減少し共外白米三千入七百五十三叺小米五千百九十叺大豆二千五百〇六十叺表入九千六百二十六俵小豆四十二叺三千四百四十二叺粟五斗入百十二一萬入四千六十九叺小麥四斗入五一萬千七百十九叺小麥四斗五又前週より千二百九十四石余を減じ大麥は五斗入八千七百九十五叺五斗入二百七十叺小豆は四斗入二百二十叺入一萬千九百四十七叺粟五斗入百十二百七十叺粟五斗入二百二十叺入四十二叺小豆二千五百五十叺粟五斗入二百十八叺高粱五十叺六袋胡麻五斗入二百五十二叺豆粕一千二百八十叺六斗入百五十五袋七斗入百七百八十叺六斗入百五十五袋七斗入百六十袋等である

京城穀物

正米現物 沿線地方の變らざる唱へと三等合格明天にて今朝は持合見當の三等合格三十圓七十錢地摺上玄二十九圓十錢並三十四圓八十錢位の唱へにて穀精白米も依然硬調

延期 期米の先安の小安き見込に各米界も頓にケツもて賣方は皆ヨク移り三十二錢を入れ京渡に及びそめし始め氣配は前日と足並て止め高に買方はヅ人の手を入れて交ちに買ひの模樣にて十一錢を頗る高なる賣方は渡方の當見に賣り廻を入れ易き所ある爲め相場へ大阪に迄上げ押す出來た手仕舞ひと相俟ち四圓にて打出めたり

歩み

七月中限	三〇九六	六月中限三〇八六	七月末限三〇七一			
八二	九五	九六	九七	九五		
〇九三	一〇〇	〇八				

廿九日午後　六月中限三〇八〇　七月末限三〇九五　七六　七七▲七

仁川正米

內地より弗々白米の買雜みある爲め手持者で暴騰强く三等合格三十一圓二十錢見當に小口取引行はれつゝあり

釜山正米

內地期米保合なるに當市場は一般に保合を呈し慶南北穀良三十一圓八十五錢神力三十一圓六十錢處にて四千叺の商內あり（三十日）

大豆　は保合の十五圓四十五錢を唱へ居れり（三十日）

延　六月末限三十一圓五十錢より八錢七月中限三十一圓七十七錢より八十二錢（三十日）

群山正米

六月中限三十圓六十錢より五十錢同末限三十圓六十三錢より六十錢七月中限卅圓八十八錢より七十五錢（三十日）

大邱正米

六月末限三十一圓六十錢七月中限三十一圓八十五錢より八十三錢（三十日）

東京期米

○三十日前場先限	三十日後場先
寄付	三五、五〇	三五、九九
二節	五一	六、〇九
三節	四九	五、九九
四節	五一	七九
五節	五五	七九
六節	七六	………

仁川米豆取引所仲買人 ㋑今村覺次郎 仁川海岸町三丁目 電話長三三七番 三六八番

大阪期米

○三十日前場		三十日後場
當寄	三二、一三	納會
止め	三二、九九	………
中寄	三三、八九	三四、二一
止め	三四、一〇	三三、九四
先寄	三四、八三	三五、三一
二節	七三	二九
三節	七三	五、〇〇
四節	七六	四八五
五節	八〇	八七
六節	七九	八七
七節	八〇	………
八節	八一	………
九節	八五	………
十節	五一〇	………

兵庫期米

○三十日前場		三十日後場
寄付	三四、五〇	三四、〇九
止め	三四、八〇	………

下關期米

○三十日前場		三十日後場
當限	寄止	寄付
中限	………	………
先限	三三、一九	三三、九九

各地期米

○廿九日後場止め
東京三三五、四九　大阪三三四、九六
兵庫三三四、六一　下關三三四、九五
桑名三三二、六二　名古屋三三三、九〇
熊本三三五、八〇　金澤三三二、六〇

大阪三品

倫敦銀塊相場三十六片八分の三米棉四十錢安

	○三十日前場寄付	前場大引
五月限	………	………
六月限	二四五、〇〇	二四五、五〇
七月限	二四二、五〇	二四二、五〇
八月限	二四二、〇〇	二四二、五〇
九月限	二四一、五〇	二四一、〇〇
十月限	二四〇、五〇	二四一、五〇

夏物大賣出し

六月一日より五日間

京城本町 丸三吳服店 電話本局一五七番

貸借對照表

（自大正十年四月一日 至大正十一年三月三十一日）

第一期決算公告

資產ノ部 [illegible]

負債ノ部 [illegible]

利益金處分 [illegible]

利益金分配處分

[illegible]

監事當選

臨時總會ニ於テ監事一名任期滿了ニ付再選ノ結果再任セリ

右公告候也

大正十一年五月 東洋拓殖株式會社

總裁 石塚英藏 理事 松平直平 理事 川上常郎 理事 八見次郎 理事 夏秋十郎

法人登記公告

[illegible]

大正拾壹年五月 京城地方法院 驪州支廳

金融組合登記公告

[illegible]

大正十一年五月二十九日 京城地方法院 平澤出張所

公告

[illegible]

大正十一年五月二十五日 京城地方法院 水原支廳

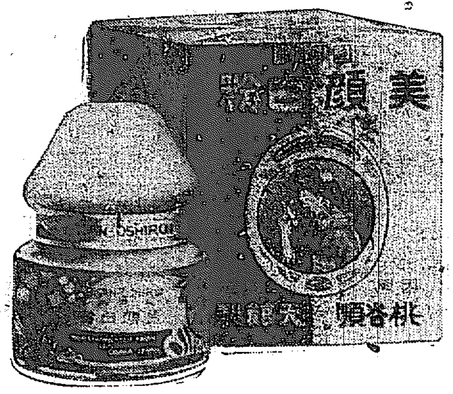
商業登記公告

[illegible]

京城地方法院

桑原鐵工株式會社製 謄寫版 並附屬品製造卸 手發賣元 東明社本店 東京市赤坂區田町一丁目十番地 電話芝五三五四番 振替東京一五〇一〇番

桃谷化粧品研究所創製



美顔白粉

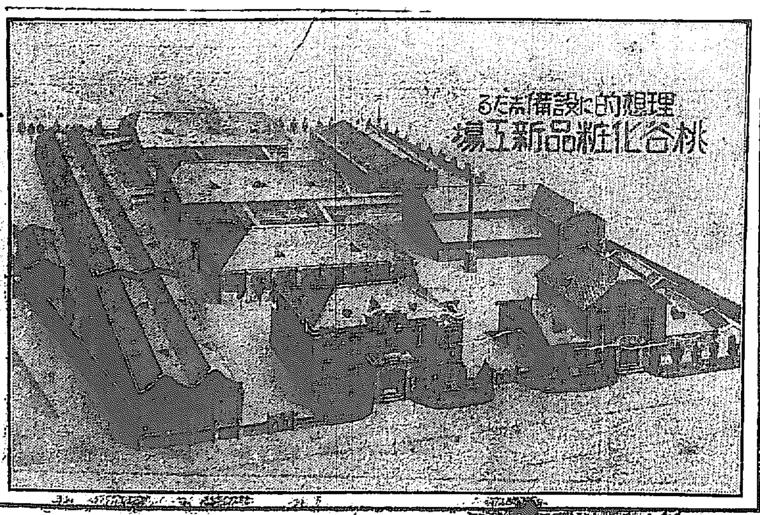
學理を最も親切に應用したる…白粉

◈婦人方の新しい傾向◈

此の頃の婦人がたは、化粧品を選ぶのに一方ならぬ注意を拂はれるやうに成りました。ご云ふのは、平生使用してゐる化粧品の良否で、顔の皮膚が長い間には思ひの外大きな變化を受けるものだご云ふ事實が、分つて來たからであります。此の事實から考へて見ましても化粧品ご云ふものは、苟にも手落のない、十分な設備を調へて、嚴密な上にも嚴密な科學的の研究ご注意を積んで製造すべきものであつて、決して大ざつぱな考へを以て製造すべきものでない事は、更めて申すまでも無いご信じます。

◈親切なる學理の應用◈

桃谷藥學博士指導の桃谷研究試驗所では夙くから深く此の點に心を用ひ、長い月日をかけて研究を重ね、學理を最も新切に應用して美顔白粉を創製し次で各種の化粧品をも創製したのであります美顔白粉の持つてゐる特殊の個性―特長の由來は此處にあるのです。斯うした特長は、自然に人を引着ける力となつて美顔白粉に現はれ、それが段々ご知れ渡るに從つて現今の婦人がたは化粧料には美顔白粉を選ばれる事になり、殊に知識階級の婦人がたの間に、洽く賞用せらるゝに至つたのであります。



▽桃谷化粧品研究所△

所長　藥學博士　桃谷幹次郎
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　　醫學博士　山本淳二氏